

Ⅷ 文化財保護

1 有形文化財

(1) 建造物

①重文 新垣家住宅主屋ほか3棟 建造物保存修理（公開活用）（那覇市）

事業目的：重要文化財の公開 事業内容：一般公開に向けての整備事業

| | 平成30年度実績額（千円） | 令和元年度実績額（千円） |
|-------|---------------|--------------|
| 市補助額 | 3,197 | 3,561 |
| 県補助額 | 3,197 | 3,559 |
| 国庫補助額 | 25,578 | 28,481 |
| 所有者 | 0 | 0 |
| 合計 | 31,972 | 35,601 |

②国選定 竹富町竹富島重要伝統的建造物群基盤強化事業（竹富町）

事業目的：竹富島重要伝統的建造物群保存地区内の建造物保存修理

| | 平成30年度実績額（千円） | 令和元年度実績額（千円） |
|-------|---------------|--------------|
| 町補助額 | 1,198 | 1,019 |
| 県補助額 | 978 | 727 |
| 国庫補助額 | 8,701 | 6,983 |
| 合計 | 10,877 | 8,729 |
| | | |

③国登録有形文化財 保存修理事業（竹富町）

事業目的：なごみの塔の保存修理

| | 平成30年度実績額（千円） | 令和元年度実績額（千円） |
|-------|---------------|--------------|
| 町補助額 | — | 748 |
| 県補助額 | — | 248 |
| 国庫補助額 | — | 3,984 |
| 合計 | — | 4,980 |

(2) 美術工芸

① 琉球国王尚家関係資料修復

事業総額：22,050千円（国17,600千円、県1,139千円、市3,344千円）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：那覇市

修復期間：平成31年4月18日～令和2年3月13日

修復目的：琉球国王尚家関係資料とは、1995年～1996年に那覇市に寄贈され文書類1,341件、美術工芸品85件をいう。その中から、尚家の個人資料や現代資料を除いた1,166件の尚家文書、並びに85件の美術工芸品が2006年に国宝として指定された。これらの資料は沖縄戦で多くの文化遺産を失った沖縄にとって、近世琉球期の政治・経済・文化、あらゆる面の解明に役立つ、重要な資料群である。

早急に修理・補修を行い、広く展示・公開しなければならないが、文書点数が多いため、損傷状態の診断を行い、より劣悪な状態のものから優先的に修復する方針で、12年計画で実施する。

事業概要：前年に引き続き、尚家文書国宝指定分1,166件のうち、国宝「琉球国王尚家関係資料」の文書記録類国宝「琉球国王尚家関係資料」の文書記録類61冊の修理もおこなった。

実施体制：文化庁の保存修復方針、国宝修理装演師連盟に委託し、九州国立博物館内の修復工房で修復し、修復後は九州国立博物館で一般公開を行った。

(3)銃砲刀剣類の登録

①沖縄県銃砲刀剣類登録審査委員

*沖縄県教育委員会委嘱(平成30年9月12日から令和2年9月11日)

大嶺 信義(刀剣研究家)、上原 正人(刀剣研究家)、兼濱 昇(刀工)

②新規登録申請件数及び登録件数

| 区分 | 種別 | 申請件数 | 登録件数 | 備考 |
|------|---------|------|------|----|
| 刀 剣 | た ち | 0 | 0 | |
| | 刀 | 0 | 0 | |
| | わきざし | 0 | 0 | |
| | 短 刀 | 0 | 0 | |
| | や り | 0 | 0 | |
| | な ぎ な た | 0 | 0 | |
| 古式銃砲 | 火 縄 銃 | 0 | 0 | |
| | その他の古式 | 0 | 0 | |
| 合 計 | | 0 | 0 | |

③証紙出納実績

| | 審査件数 | 登録審査手数料 | 出納実績 | 備考 |
|-------------|------|----------|------|----|
| 審査手数料(新規登録) | 0 | 6,300円/件 | 0円 | |
| 審査手数料(再交付) | 0 | 3,500円/件 | 0円 | |
| 制作承認手数料 | 0 | 800円/件 | 0円 | |
| 合 計 | | | 0円 | |

④登録を受けた銃砲刀剣類の譲り受け・貸付け・登録証再交付などの届出件数

| 種 別 | 銃砲類 | 刀剣類 | 計 |
|--------|-----|-----|---|
| 譲り受け | 0 | 0 | 0 |
| 相 続 | 0 | 0 | 0 |
| 貸 付 け | 0 | 0 | 0 |
| 保管の委託 | 0 | 0 | 0 |
| 登録証再交付 | 0 | 0 | 0 |
| 合 計 | 0 | 0 | 0 |

2. 無形文化財

(1) 芸 能 (伝承者養成事業)

① 重要無形文化財「琉球舞踊」伝承者養成事業

事業総額：7,277千円（国7,000千円、県104千円、保存会173千円）

実施内容：国補助による琉球舞踊保存会直営事業（会長：宮城能鳳）

事業内容：伝承者養成研修を実施し、研修成果の発表会を行った。

事業期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日

研 修 会：期日、内容等は下記のとおり。

研修趣旨：琉球舞踊の古典舞踊と雑踊りについて、それぞれの師匠の技を再現し、確認することで、琉球舞踊に伝えられる技について演目ごとに理解を深める。

保持者を中心に現在の実演家たちが師事した師匠の技を再現し、流派を越えて学習することを旨とする。

内 容：古典女踊「瓦屋」と雑踊「取納奉行」について、各系統の先達のわざを再現し、技術研修の成果を発表した。発表と、有識者の講話を2日間開催。

琉球舞踊の古典七踊の研修

ア システムの整理（琉球王国時代の御冠船踊りの芸統をひく7人の先達を基に整理）

現在の琉球舞踊保持者を中心に整理すると下記のとおり。 ※ 下線部は物故者

玉城盛重 { ①玉城盛義：玉城節子、玉城秀子、谷田嘉子、金城美枝子、又吉静枝
②島袋光裕：島袋光晴、佐藤太圭子
③親泊興照：二代目親泊興照
④宮城能造：宮城能鳳
⑤真境名佳子：宮城幸子、喜納幸子
⑥真境名由康：真境名直子（2013年逝去のため、真境名結子と協議）

嵩原安詩 { ⑦比嘉清子：大城政子
⑧田島清郷：志田房子

伝承者を中心に整理すると下記のとおり。

新垣松含 ⑨比嘉澄子 比嘉早苗

渡嘉敷守良 ⑩児玉清子 二代目児玉清子・由利子 金城光子 二代目渡嘉敷守良

読谷山親雲上 ⑪金武良章 安座間澄子 安座間明美

川平親雲上 ⑫阿波連本啓 阿波連蘭子

屋我良勝 ⑬山田貞子 山内小夜 山内喜美枝

※ 宮城能造：二代目宮城能造

田代タカ子：宮城美能留 宮城早苗・園美

玉城盛義：宇根伸三郎

イ 研修方法

古典七踊りについては、現在の琉球舞踊保持者の技の源流である玉城盛重と嵩原安詩について、8（上記の①～⑧）グループに分ける。琉球舞踊保持者に担い手がいない読谷山親雲上、新垣松含、屋我良勝、川平親雲上、渡嘉敷守良の5人の師匠の技について5（⑨～⑬）に分けて研修を実施する。

あわせて、演目についての講話を実施する。

・「瓦屋」「取納奉行」について

5月18日 鈴木耕太（沖縄県立芸術大学講師）

・瓦屋と取納奉行の詞章について

1月25日 波照間永吉（顧問・名桜大学大学院教授）

・衣裳について

1月26日 古波蔵ひろみ（国選定保存技術沖縄伝統芸能（結髪）伝承者）

実技研修に重きをおき、各分野より選ばれた選抜研修生（80名）と、一般研修生（約400名）にわける。

選抜研修生には9月の実技研修、および1月の成果発表会への出演を課す。実技研修は稽古着だが、成果発表会は衣装着用・拵えあり。

その他の一般研修は、11月の技能研修にて保持者の前で課題演目の演舞を行う（稽古着・拵えなし）。

ウ 課題演目

令和元年度は、古典舞踊「瓦屋」、雑踊「取納奉行」

エ 研修回数

令和元年度は以下の7回の研修を行う。

- a 開講式（5月18日） ※ 全員対象
- b 選抜研修（9月22日・23日） ※選抜者対象
- c 実技発表会（11月16日・17日） ※全伝承者対象（選抜者を除く）
- d 成果発表会および講話（1月25日・26日） ※出演は選抜者、出席は全員対象
選抜者は選抜研修（9月22日・23日）を行い、その成果を踏まえて成果発表公演（1月25日・26日）を実施する。
※衣装、化粧、道具等についても師からの教えを再現する。
※研修成果発表会は一般観客にも披露する。

オ 研修報告

- a 開講式（令和元年5月18日 会場：ているる（那覇市））
伝承者全員を対象とした開講式および講話。
講話は沖縄県立芸術大学講師・鈴木耕太氏（当会研修コーディネーター）による「「瓦屋」「取納奉行」について」。本年度の課題演目である「瓦屋」「取納奉行」について、概論的な講義を行った。また本年度新伝承者（三線）の認証式を行った。
来賓には沖縄県文化財課課長・濱口寿夫氏（代理：班長・德里政哉氏）、および当会顧問の田中英機氏をお招きし、お一人ずつより激励の言葉を頂いた。
- b 選抜研修（令和元年9月22・23日 会場：てだこホール練習室1（浦添市））
令和元年度の選抜者（約80人）を対象とした研修。全体を12グループにわけ、グループごとによる演舞を行う。選抜研修に選ばれると、最低1ヶ月に1回、各自にて稽古を行う。その後、この9月の選抜研修にて全保持者の前で演舞を披露し、指導を受ける。9月の研修は、衣装は舞踊・地謡ともに稽古着で、拵えは行わない。
- c 技能発表会（令和元年11月16・17日 会場：1日目 国立劇場おきなわ大稽古室（浦添市） 2日目 てだこホール練習室1（浦添市））
令和元年度の選抜者以外（約400人）を対象とした研修。全体を24グループにわけ、グループごとによる演舞を行う。各自にて稽古ののち、この技能発表会にて全保持者の前で演舞を披露し、指導を受ける。衣装は舞踊・地謡ともに稽古着で、拵えは行わない。
- d 成果発表会（令和2年1月25・26日 会場：国立劇場おきなわ大劇場（浦添市））
9月の選抜研修をへて、集大成となる成果発表会を行う。
舞踊は衣装・拵えを行い、地謡と古典舞踊は黒朝、雑踊は紋付袴を着用。両日とも有識者による講話を行う。初日は名桜大学大学院教授の波照間永吉氏（当会顧問）による「瓦屋と取納奉行の詞章について」。本年度の課題曲について、文法的な観点からの講義を行った。2日目は国選定保存技術沖縄伝統芸能（結髪）伝承者の古波蔵ひろみ氏による「衣装について」。課題演目「瓦屋」「取納奉行」を中心に、沖縄の衣装の歴史と舞踊の装束との関わりについての講義を行った。
本成果発表会は、全伝承者が出席して鑑賞するとともに、ひろく一般にも公開し、琉球舞踊の普及につとめる。また前日の1日にリハーサルを行った。

一出演者名簿（1日目：①～⑤グループ／2日目：⑥～⑫グループ）

○印が地謡リーダー ※太鼓は「高平良万歳」のみ出演

- ①舞踊：（玉城流扇寿会）中村加代子・玉城美千子・与那嶺綾子
（玉城流乙姫要乃会）宮城昭博
地謡：（歌三線）（野村流音楽協会①）○仲尾勝成・眞栄田徹也・渡口裕・仲田知広
（箏）上原幸子 （笛）入嵩西諭 （胡弓）祖堅信義 （太鼓）比嘉邦子
- ②舞踊：（玉城流翔節会）上里初枝
地謡：（歌三線）（野村流音楽協会・野村流伝統音楽協会）②
○内間清作・内間安希・座波洋平
（箏）国吉裕子 （笛）仲田治巳 （胡弓）祖堅信義 （太鼓）比嘉邦子
- ③舞踊：（宮城本流鳳乃會）宮城能麗・嘉手苺林一
地謡：（歌三線）（野村流音楽協会・野村流伝統音楽協会）③
○幸地あや・伊良波ゆかり・大濱麻未
（箏）中村美智子 （笛）入嵩西諭 （胡弓）祖堅信義 （太鼓）比嘉邦子

- ④舞踊：（親泊流丈芳の会）大城清子
地謡：（歌三線）（野村流音楽協会①）○仲尾勝成・眞栄田徹也・渡口裕・仲田知広
（箏）大城智史・池間北斗
（笛）入嵩西諭（胡弓）祖堅信義（太鼓）比嘉邦子
- ⑤舞踊：（島袋本流紫の会）伊禮秀子・瀬底愛子
地謡：（歌三線）（野村流音楽協会・野村流伝統音楽協会）②
○内間清作・内間安希・座波洋平
（箏）知名幸子（笛）仲田治巳（胡弓）祖堅信義（太鼓）比嘉邦子
- ⑥舞踊：（朱日流）多和田美幸・宮城尚子（宮城流美能留会）松田恵
地謡：（歌三線）（野村流保存会①）○玉城悟・大城聖・比嘉啓和
（箏）（笛）座波雪子（胡弓）森田夏子（太鼓）横目大通
- ⑦舞踊：（玉城流喜納の会）西江利江子（玉城流七扇敏風会）松田勝江・諸喜田千華
地謡：（歌三線）（安富祖竜絃囀会①）○與那國太介・高良幸則・大城貴之・平良大
（箏）佐久本秀子（笛）我那覇常允（胡弓）川平賀道（太鼓）横目大通
- ⑧舞踊：（真境名本流）喜屋武愛香
（道扇流）赤嶺光子・藤戸絹代・與那嶺奈津子・兼次孝子
地謡：（歌三線）（安富祖竜絃囀会②）○又吉由美子・大城博子・田淵愛子・知念幸代
（笛）我那覇常允（胡弓）川平賀道（太鼓）横目大通
- ⑨舞踊：（柳清本流）外間清子（真南風流）金城恵美子・宮城美佐子
地謡：（歌三線）（野村流保存会②）○仲村逸夫・長浜真輝・長嶺有哲・花城康喜
（箏）宮城豊子・宮城秀子（笛）座波雪子（胡弓）森田夏子（太鼓）横目大通
- ⑩舞踊：（島袋流千尋会）比嘉政子（世舞会）根間教子・金城幸子
（琉球舞踊穂花会）亀浜律子（琉球舞踊にぬふあぬ会）平良律司子
（琉球舞踊かなの会）高嶺久枝
地謡：（歌三線）（安富祖竜絃囀会①）○與那國太介・高良幸則・大城貴之・平良大
（箏）我喜屋孝子（笛）我那覇常允（胡弓）川平賀道（太鼓）横目大通
- ⑪舞踊：（阿波連本流啓扇会）金城文子・赤嶺秀子（宮城流）宮城能舞
地謡：（歌三線）（野村流保存会②）○仲村逸夫・長浜真輝・長嶺有哲・花城康喜
（箏）宮里秀明（笛）座波雪子（胡弓）森田夏子（太鼓）横目大通
- ⑫舞踊：（玉城流煌扇会）又吉啓子
地謡：（歌三線）（安富祖竜絃囀会②）○又吉由美子・大城博子・田淵愛子・知念幸代
（箏）比嘉陽子（笛）我那覇常允（胡弓）川平賀道（太鼓）横目大通

②選定保存技術「結髪（沖縄伝統芸能）」伝承者養成事業

事業総額：673千円（国536千円、県67千円、保持者70千円）

実施方法：国・県補助による保持者直営事業

事業主体：古波蔵佐紀（雅号 小波則夫）

伝承者：古波蔵ひろみ 田口博章

事業期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日

場 所：自宅工房

事業内容：本年度の研修では、敬髻専用鬘を使用して成人男子の髪型である敬髻（カタカシラ）の結髪法を習得する計画であった。特に鬘は高価であり、羽二重付きの網付き鬘などは網が破損しやすく、枠が繊細な作りであるため取り扱いに注意が必要である。鬘の丁寧な扱い方、櫛捌きは最も神経を使うところであり、時間をかけて念入りに習得した。「伝承者の養成」「技能・技術の錬磨」について、5月以降、保持者の体調不良による入院となり、7月には保持者死亡のため終了となる。

概 要：1 結髪伝承者養成事業として、2名の伝承者に対し、25日間の研修を実施した。
2 結髪技術普及のためのリーフレットを作成した。

作業内容：敬髻の鬘の持ち方、櫛入れ法、梳き方の習得終了。（4月に実施）

③選定保存技術「組踊道具・衣裳製作修理」伝承者養成事業

事業総額：7,224千円（国7,000千円、県100千円、保存会124千円）

実施方法：国・県補助による組踊道具・衣裳製作修理保存会直営事業

事業主体：組踊道具・衣裳製作修理技術保存会

事業期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日

場 所：各技術者の工房

事業内容：道具・衣裳製作修理は、沖縄の伝統芸能である「組踊」で使用される各種の道具と、各

役柄に応じた伝統的な衣裳を製作し、修理する技術であり、国の重要無形文化財「組踊」の保存に欠くことはできない。

- 1 道具：組踊道具の製作をした。技術者4名で、伝承者7名を指導した。
合計404回の研修を行った。
 - (1) 講師：金城裕幸 新垣孝 平田智之 上原じゅん子
 - (2) 伝承者：宮城優子 金城小百合 城間貞光
江洲のぶ子 佐渡山也子 比嘉建秀 平田恵乃
- 2 衣装：組踊衣装の製作をした。技術者1名で、伝承者1名を指導した。
合計40回の研修を行った。
 - (1) 講師：嘉手納タケ子
 - (2) 伝承者：満名苗子
- 3 技能・技術の錬磨：作品・素材・技術（舞台公演を含む）を見学し、それぞれの知識を高め、作品・技術に反映させた。

④重要無形文化財「組踊」伝承者養成事業

事業総額：12,184千円（国12,000千円、県90千円、保存会94千円）

実施方法：国補助による一般社団法人伝統組踊保存会直営事業

事業内容：伝承者養成研修を実施し、研修成果の発表会を行った。

事業期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日

研修会：期日、内容等は下記のとおり。

研修の目的：伝承者に実技研修と教養講座（座学）を実施し技芸のさらなる向上を図る。

保持者は、伝承者の技量向上に資するように指導に努める。

- 基本方針：1 実技指導は、伝統組踊保存会会員である保持者が行う。座学講座については、外部講師の招聘も考慮する。
- 2 立方・地謡に色々な役柄を与え、将来の指導者としての資質・能力を養うように指導する。
 - 3 補助事業における伝承者は、20～30代の若手と中堅層をもって編成する。
今年度は、伝承者55名（立方22名、地謡33名）を対象に実施する。
 - 4 指導計画を策定し、日々の研修・稽古を重視して技能向上を最重点に置く。
 - 5 座学講座、実技研修の成果の確認は舞台発表を実施して行う。

研修内容：1 実技研修

(1) 実技研修演目は、朝薫の五番（「護佐丸敵討」「執心鐘入」「女物狂」「銘苅子」「孝行の巻」）と「手水の縁」「萬歳敵討」「花売の縁」とする。

(2) 前期・後期、各15回研修実施。年間に二演目を研修する。

2 座学

(1) 座学は、琉球の歴史、芸能史、組踊の歴史的背景、組踊に関する事項、組踊と他の伝統芸能の比較等。全6回講座実施。

3 成果発表会の実施

成果発表会を実施する。場所は、国立劇場おきなわ大劇場

前期は令和元年9月15日（日）「萬歳敵討」

後期は令和2年2月16日（日）「手水の縁」

⑤記録作成等の措置を講ずべき無形文化財「琉球古典箏曲」記録保存調査事業

事業総額：1,741千円（国1,678千円、県31千円、保存会32千円）

実施方法：国・県補助による琉球古典箏曲記録保存調査会直営事業

事業主体：琉球古典箏曲記録保存調査会

事業期間：平成31年4月1日～令和2年3月30日

調査員：金城厚（沖縄県立芸術大学教授）、比嘉悦子（沖縄県文化財保護審議会委員）

大城學（文化審議会専門委員）、野川美穂子（東京芸術大学非常勤講師）

井口はる菜（関西外国語大学講師）……5名

（調査補助員）又吉恭平（団体職員）、遠藤美奈（沖縄県立芸術大学非常勤講師）

全体計画：平成30年度：事前調査・研究

令和元年度：本格調査・研究・記録保存録音録画

令和2年度：本格調査・研究・記録保存録音録画

令和3年度：調査まとめ、報告書作成

事業概要：(1) 琉球古典箏曲の歴史について、史料研究によりこれを解明し、琉球古典箏曲の成立と展開、および日本音楽史における琉球古典箏曲の位置、近世邦楽全般との関係に

ついて解明する。

(2) 琉球古典箏曲の現状について、演奏の録音によりこれを記録し、技芸の保存をはかる。

(3) 琉球古典箏曲の諸技法について、現在の伝承者への聞き取り調査と録音によりこれを記録し、技芸の保存をはかる。

事業内容： 4回の研究会と2回の実地調査を行う。調査は4年を計画しており、本年度はその第2年度として、具体的な詳細について調査を行う。調査員は5名とし、うち1名は千葉県在住者、1名は滋賀県在住者、3名は沖縄県在住者とする。調査補助員は2名とし、いずれも那覇市近郊在住者である。

調査会会議：(第1回) 日 時：6月16日(土) 10時～16時、

場 所：沖縄県立芸術大学 首里当蔵キャンパス

参加者：調査員 金城、比嘉、大城、野川、井口

内 容：(報告)比嘉悦子 3月の鹿児島調査

(第2回) 日 時：9月16日(月) 10時～16時

場 所：沖縄県立芸術大学 首里当蔵キャンパス

参加者：調査員 金城、比嘉、大城、野川、井口

内 容：(報告)井口はる菜 歴博データから旋律について、それらの類似度比較の結果。

(報告)比嘉悦子 九州地方の情報についての検討状況。

(第3回) 日 時：12月28日(土) 10時～16時

場 所：沖縄県立芸術大学 首里当蔵キャンパス

参加者：調査員 金城、比嘉、大城、野川、井口

内 容：(講話)松原武実先生

鹿児島地方の民謡の状況について

(第4回) 日 時：3月15日(日) 10時～13時

場 所：沖縄県立芸術大学 首里当蔵キャンパス

参加者：調査員 金城、比嘉、野川、井口

内 容：(報告)金城厚 段のものの一部の曲目について楽曲構造の試行分析結果

⑥県指定無形文化財「琉球歌劇」伝承者養成事業

事業総額：1,230千円(県648千円、保存会582千円)

実施方法：県補助による琉球歌劇保存会直営事業(会長：吉田妙子)

事業内容：現代歌劇「貞女と孝子」名作四大歌劇の一つ「奥山の牡丹」の2演目について、技能保持者指導のもと、25名の伝承者が研修し、その成果を発表した。

事業期間：令和元年6月9日(土)～令和元年12月27日(金)

研 修：令和元年6月9日(土)～令和元年12月27日(金)

場 所：国立劇場等

研 修 会：立ち稽古15回

指 導 者：八木政男、吉田妙子、久高将吉、平良進、仲嶺真永、与座ともつね、瀬名波孝子、嘉数好子、真栄田文子、中曾根律子、堀文子、宮里良子、泉賀寿子、与座喜美子、徳原清文(地謡)

研 修 者：金城真次、新垣勝夫、上原嵩弘、島袋ゆかり、安次嶺利美、上江洲由佳、津波盛廣、具志清建、赤嶺啓子、糸数きよし、高宮城実人、知念勝三、知念亜希、当銘由亮、玉城政子、小嶺和佳子、玉城敦子、座喜味米子、伊良波さゆき、新垣正弘、伊藝武士、小林美奈子、大城常政、恩納裕、金城裕幸 以上25名

⑦県指定無形文化財「沖縄伝統音楽野村流」伝承者養成事業

事業総額：325千円(県100千円、保存会225千円)

実施方法：県補助による沖縄伝統音楽野村流保存会直営事業(会長：勝連繁雄)

事業内容：野村流の正しい継承と発展及び芸能文化の向上を図ることを目的に、会員(保持者、伝承者)を対象に、大昔節を中心とした研修会と「歌三線」に関する講話と伝承者研修発表会を実施した。

事業期間：令和元年9月2日～令和2年3月8日

(1) 研修会

ア 開 催 日：令和元年9月28日

場 所：西原町社会福祉センター

参加人数：181人

研修内容：かぎやで風節、長ぢゃんな節、伊集早作田節、一七八節、本花風節、昔蝶節、あがさ節、舞踊曲 むんじゅる、磨踊

イ 開催日：令和元年11月30日
場 所：浦添市産業振興センター 結の街
参加人数：147人

研修内容：かぎやで風節、恩納節、揚作田節、仲節、清屋節、長伊平屋節、東江節、通水節

(2) 講話

開催日：令和元年11月30日
場 所：浦添市産業振興センター 結の街
参加人数：147人
内 容：私にとっての「琉球古典音楽」～沖縄人が創造した独自の表現世界～
講 師：勝連繁雄（野村流音楽協会）

(3) 伝承者研修発表会

開催日：令和2年1月19日
場 所：宜野湾市民会館
参加人数：260人
内 容：保持者・伝承者斉唱、伝承者斉唱、独唱、舞踊地謡

⑧県指定無形文化財「沖縄伝統音楽安富祖流」伝承者養成事業

事業総額：301千円（県100千円、保存会201千円）

実施方法：県補助による沖縄伝統音楽安富祖流保存会直営事業（会長：照喜名朝一）

事業内容：年間事業計画により伝承者養成事業を毎月1回開催し保持者が指導を行った。また、文化的知識を深め、資質の向上を図る目的に、専門家、研究家講師を招聘し特別講演会を実施した。

事業期間：令和元年7月24日～令和2年3月31日

(1) 定例研修会 毎月1回 第4日曜日 午前10時～正午
テーマ 伝統音楽安富祖流の研究

(2) 特別講演会（保持者・伝承者研修）

日 時：令和元年8月25日（日）午前11時～正午
講 師：鈴木 耕太（すずき こうた）氏 沖縄県立芸術大学附属研究所講師
演 題：「組踊における琉球古典音楽」
場 所：国立劇場おきなわ大稽古場

| 回 | 開催日 | 内 容 | 開催場所 |
|---|------------------|---|------|
| 1 | 8月25日（日） | 定例研修会：御前風（5節） 特別講演会 講 師：鈴木 耕太（すずき こうた）氏 演 題：「組踊における琉球古典音楽」 場 所：国立劇場おきなわ大稽古場 | |
| 2 | 9月22日（日） | 定例研修会：真玉橋公民館1F 御前風（5節） 昔節・大昔節より：首里節 昔蝶節 上中巻より：東細節 伊集の木節 | |
| 3 | 10月27日（日） | 定例研修会：真玉橋公民館1F 御前風（5節） 昔節・大昔節より：首里節 昔蝶節 上中巻より：東細節 伊集の木節 | |
| 4 | 11月24日（日） | 定例研修会：真玉橋公民館1F 御前風（5節） 昔節・大昔節より：諸鈍節 今風節 上中巻より：本部長節 昔田名節 | |
| 5 | 12月23日（日） | 定例研修会：国立劇場おきなわ大稽古場 御前風（5節） 2019年度 師範・教師課題曲 師範：昔蝶節・仲村渠節 教師：暁節・散山節 | |
| 6 | 令和2年 1月26日（日） | 定例研修会：国立劇場おきなわ大稽古場 御前風（5節） 2019年度 師範・教師課題曲 師範：昔蝶節・仲村渠節 教師：暁節・散山節 | |

| | | |
|---|----------|---|
| 7 | 2月23日(日) | 定例研修会：真玉橋公民館 1F 御前風(5節) 2019年度 師範・教師課題曲 師範：昔蝶節・仲村渠節 教師：暁節・散山節 |
|---|----------|---|

※8回目3月22日(日)は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で中止。

(3) 指導者：照喜名朝一、西江喜春、玉城正治、濱元盛爾、照喜名進

⑨ 県指定無形文化財「沖縄伝統音楽箏曲」伝承者養成事業

事業総額：353千円(県100千円、保存会253千円)

実施方法：県補助による沖縄伝統音楽箏曲保存会直営事業(会長：宮城光子)

事業内容：保持者の指導により研修会を実施した。

事業期間：令和元年6月15日～令和2年3月31日 完了

- (1) 研修会：第1回 令和元年6月15日(土) 99名参加
第2回 令和元年9月23日(月) 90名参加
第3回 令和2年2月8日(土) 80名参加

場 所：国立劇場おきなわ 大稽古室

指 導 者：宮城光子、山内好子、野里葉子、比嘉淳江、玉城弥生、當山文子、上地尚子、赤嶺弘子

- (2) 公演会：第7回伝承者公演 令和元年7月7日(日)
創立20周年記念式典・公演 令和元年11月27日(水)

(2) 芸 能 (組踊等普及啓発事業)

① 組踊特別鑑賞会(全国公演)・・・国庫補助事業

事業総額：30,592千円(国27,753千円、県999千円、保存会1,840千円)

趣 旨：全国各地で重要無形文化財「組踊」を鑑賞する機会を設け、その一層の普及・伝承を図り、併せて開催地の芸術文化活動、文化財保護活動に資するため、本特別鑑賞会を開催する。

普及公演：組踊を広く一般に周知するため、全国6カ所で公開した。

事業主体：一般社団法人 伝統組踊保存会

実施方法：国・県補助による保存会直営事業

事業期間：平成31年4月2日～令和2年3月31日

事業内容：組踊1題、琉球舞踊4題を上演し、組踊の概要等を山内久江、石嶺若子(県教育庁文化財課指導主事)が解説した。字幕を投影し、演目解説書を観客に配布した。
開催地、開催日時及びプログラムは次のとおりである。

- 1 宮城県蔵王町「蔵王町ふるさと文化会館」・・・令和元年7月28日(日)午後2時開演

主 催／一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会 蔵王町 蔵王町教育委員会

共 催／蔵王町文化協会

後 援／宮城県教育委員会 河北新報社 TBC東北放送

第1部：琉球舞踊「老人老女」嘉手苺林一・大城常政

「若衆こてい節」佐辺良和・仲村圭央

「下り口説」金城陽一 「天川」宮城能鳳

第2部：組踊「執心鐘入」立方責任者(宮城能鳳)・地謡責任者(糸数昌治)

配役：宿の女(新垣悟) 中城若松(佐辺良和) 座主(嘉手苺林一)

小僧1(山入端實) 小僧2(金城陽一) 小僧3(大城常政)

黒子(仲村圭央)

地謡：歌・三線(糸数昌治、新地孝一、上間克美、仲村渠達也)

箏(宮平榮子) 笛(知念久光) 胡弓(川平賀道) 太鼓(宇座嘉憲)

- 2 千葉県千葉市「青葉の森公園芸術文化ホール」・・・令和元年8月10日(土)午後2時開演

主 催／一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会 青葉の森公園芸術文化ホール

後 援／千葉県 千葉市教育委員会

第1部：琉球舞踊「老人老女」島袋光尋・前當正雄

「若衆こてい節」伊野波盛人・川満香多

「下り口説」糸満盛幸 「天川」大湾三留

第2部：組踊「花売の縁」立方責任者(島袋光尋)・地謡責任者(山城暁)

配役：森川の子(島袋光尋) 乙樽(大湾三留) 鶴松(宇良佳祐) 猿引(糸満盛幸)

猿(糸数彰馬) 薪取(金城清一) 後見1(川満香多) 黒子2(伊野波盛人)

地謡：歌・三線(山城暁、比嘉康春、大湾朝重、稲嶺盛律)

- 箏（上地七重） 笛（上原政市） 胡弓（新城清弘） 太鼓（比嘉聰）
- 3 新潟県燕市「燕市文化会館」・・・令和元年9月21日（土）午後2時開演
 主催／一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会 燕市
 共催／燕市教育委員会
 後援／燕市文化協会 新潟日報社 ケンオー・ドットコム
 第1部：琉球舞踊「老人老女」儀保政彦・安次嶺浩和
 「若衆こてい節」仲村圭央・山城峻称
 「下り口説」金城陽一 「天川」田口博章
 第2部：組踊「執心鐘入」立方責任者（眞境名正憲）・地謡責任者（西江喜春）
 配役：宿の女（仲村圭央） 中城若松（神谷武史） 座主（眞境名正憲）
 小僧1（金城陽一） 小僧2（安次嶺浩和） 小僧3（山城峻称）
 黒子（田口博章）
 地謡：歌・三線（西江喜春、照喜名進、松本紀、玉城和樹）
 箏（島袋八重子） 笛（大湾清之） 胡弓（嶺井敦弘） 太鼓（喜舎場盛勝）
- 4 和歌山県海南市「海南市民交流センター」・・・令和元年10月6日（日）午後2時開演
 主催／一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会
 海南市民交流センター（指定管理者：ハートス・大揚興業共同事業体）
 後援／海南市 海南市教育委員会
 第1部：琉球舞踊「老人老女」糸満盛幸・伊野波盛人
 「若衆こてい節」池間隼人・伊藝武士
 「下り口説」比嘉大志・上原崇弘 「天川」大湾三瑠
 第2部：組踊「万歳敵討」立方責任者（海勢頭あける）・地謡責任者（仲嶺伸吾）
 配役：高平良御鎖（玉城盛義） 高平良の妻（海勢頭あける） 高平良の娘（大湾三瑠）
 謝名の子（金城真次） 慶雲（玉城匠） 列女1（伊野波盛人）
 列女2（糸満盛幸） 御鎖供1（上原崇弘） 御鎖供2（比嘉大志）
 通行人（池間隼人） きやうちやこ持（伊藝武士）
 地謡：歌・三線（仲嶺伸吾、渡名喜康広、幸喜信明、照喜名朝國）
 箏（神谷和枝） 笛（真地利尚） 胡弓（運天伊作） 太鼓（神山常夫）
- 5 群馬県前橋市「ベイシア文化ホール」・・・令和元年11月23日（土）午後2時開演
 主催／一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会
 共催／公益財団法人群馬県教育文化事業団（群馬県民会館）
 後援／群馬県 群馬県教育委員会 他マスコミ11社
 第1部：琉球舞踊「老人老女」安次嶺浩和・岸本剛
 「若衆こてい節」池間隼人・山城峻称
 「下り口説」當山力 「天川」親泊久玄
 第2部：組踊「護佐丸敵討」立方責任者（島袋光尋）・地謡責任者（前川朝文）
 配役：あまおへ（島袋光尋） 鶴松（東江裕吉） 亀千代（池間隼人）
 母（親泊久玄） 供1（安次嶺浩和） 供2（岸本剛） 供3（當山力）
 きやうちやこ持（山城峻称）
 地謡：歌・三線（前川朝文、銘苅盛隆、末吉政利、仲尾勝成）
 箏（比嘉玲子） 笛（宇保英明） 胡弓（崎原盛勇） 太鼓（與那覇徹）
- 6 宮城県仙台市「日立システムズホール仙台」・・・令和2年1月26日（日）午後2時開演
 主催／一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会
 公益財団法人仙台市市民文化事業団
 後援／宮城県教育委員会 仙台市教育委員会
 第1部：琉球舞踊「老人老女」大城常政・石川直也
 「若衆こてい節」宮城茂雄・玉城匠
 「下り口説」仲村圭央 「天川」眞境名律弘
 第2部：組踊「護佐丸敵討」立方責任者（眞境名律弘）・地謡責任者（中村一雄）
 配役：あまおへ（嘉数道彦） 鶴松（宮城茂雄） 亀千代（玉城匠）
 母（眞境名律弘） 供1（石川直也） 供2（大城常政） 供3（前當正雄）
 きやうちやこ持（仲村圭央）
 地謡：歌・三線（中村一雄、砂辺孝真、大城幸雄、國吉啓介）
 箏（米須幸子） 笛（嘉数世勲） 胡弓（高宮城実人） 太鼓（國場秀治）

②児童生徒の組踊等沖縄伝統芸能鑑賞会・・・県単独事業

事業総額：3,166千円（執行済額3,166千円）

趣 旨：児童生徒に郷土芸能への理解と関心を深めさせ、組踊等沖縄伝統芸能の県内への普及啓発を図るとともに、若手実演家の活動機会を増やすことによって、後継者の育成を図る。

実施方法：沖縄県教育委員会が、一般社団法人伝統組踊保存会に事業委託

事業内容：上演演目は、組踊（執心鐘入）あるいは沖縄芝居及び沖縄伝統芸能（琉球舞踊）

解 説：演目解説書を児童生徒全員に配布し、演目概要等の紹介

事前ワークショップ（WS）：希望する学校にて実施

実演団体：一般社団法人 伝統組踊保存会

鑑賞校、開催日時、出演者は次のとおり

ア 鑑賞校（鑑賞人数）：県立コザ高等学校〔定時制〕（58人）

日 時：令和元年9月19日（木） 午後6時15分開演

会 場：県立コザ高校体育館

解説及びワークショップ：知花小百合

第1部：琉球舞踊

「老人老女」島袋光尋（保持者）、前當正隆 「若衆こてい節」玉城匠

「前の浜」川満香多 「天川」糸満盛幸

第2部：組踊「執心鐘入」

立方指導：島袋光尋（保持者）

地謡指導：銘苅盛隆（保持者）

解 説：山城 暁

配 役：若松（玉城匠）、宿の女（大湾三瑠）、座主（川満香多）、小僧1（糸満盛幸）、
小僧2（糸満盛幸）、小僧3（前當正雄）、後見（喜屋武愛香）

地 謡：歌・三線（銘苅盛隆、喜納吏一、仲村渠達也）、箏（今倉理子）、
笛（入嵩西諭）、胡弓（運天伊作）、太鼓（金城睦昭）

【事前WS】日 時：令和元年9月18日（水）18:40～19:40

場 所：コザ高校体育館 受講人数：58人

イ 鑑賞校（鑑賞人数）：北谷町立浜川小学校（605人）

日 時：令和元年11月11日（木） 午前10時30分開演

会 場：浜川小体育館

解説及びワークショップ：西村綾乃

第1部：琉球舞踊

「老人老女」糸満盛幸・金城陽一 「若衆こてい節」伊藝武士

「下り口説」山入端實 「天川」海勢頭あける

第2部：組踊「執心鐘入」

立方指導：海勢頭あける（保持者） 地謡指導：中村一雄（保持者）

配 役：若松（東江裕吉）、宿の女（親泊久玄）、座主（金城陽一）、
小僧1（糸満盛幸）、小僧2（山入端實）、小僧3（伊藝武士）、
後見（伊佐幸子）

地 謡：歌・三線（中村一雄・前原信喜・金城幸浩）、箏（手登根廣美）、
笛（上原政市）、胡弓（稲嶺一夫）、太鼓（久志大樹）

【事前WS】日 時：令和元年11月5日（火）10:35～11:20（4年生）

場 所：浜川小学校体育館 受講人数：120人

ウ 鑑賞校（鑑賞人数）：沖縄ろう学校、特別支援はなさき分校（計68人）

日 時：令和元年12月19日（木） 午前10時開演

会 場：沖縄ろう学校体育館

解説及びワークショップ：知花小百合

第1部：琉球舞踊「老人老女」安次嶺浩和・大城常政 「初春」仲村圭央

「下り口説」山入端實 「かせかけ」真境名律弘

第2部：組踊「執心鐘入」

立方指導：真境名律弘（保持者） 地謡指導：仲嶺伸吾（保持者）

解 説：山城 暁

配 役：若松（玉城匠）、宿の女（仲村圭央）、座主（安次嶺浩和）、小僧1（山入端實）
小僧2（田口博章）、小僧3（大城常政）、後見（伊佐幸子）

地 謡：歌・三線（仲嶺伸吾・糸数一雄・照喜名朝國）、箏（国吉裕子）、
笛（中村昌成）、胡弓（祖堅信義）、太鼓（久志大樹）

【事前WS】日 時：令和元年12月19日（木）9:50～10:40（高等部1～3年生）

場 所：沖縄ろう学校体育館 受講人数：45人

③組踊等教育普及事業・・・沖縄県特別推進交付金事業

趣 旨：日常生活において、組踊等沖縄の無形文化財(芸能)を鑑賞する機会の少ない児童・生徒に対し、これを公演し観賞させることによって、郷土の無形文化財(芸能)への理解と関心を深めさせ、これを保存継承する社会的基盤の形成を図る。

ア 児童生徒離島公演

事業総額：18,610千円(執行済額18,610千円 うち交付金充当額14,888千円)

実施方法：沖縄県教育委員会が、平成31年度「組踊等教育普及事業」共同事業体に事業委託

実演団体：平成31年度「組踊等教育普及事業」共同事業体

代 表 者：一般社団法人 オキナワステージプラン

構 成 員：沖縄伝統組踊「子の会」

事業内容：上演演目：組踊(執心鐘入)及び沖縄伝統芸能(琉球舞踊)

解 説：演目解説書を児童生徒全員に配布し、演目概要等の紹介

ワークショップ(WS)：日程調整ができた学校にて実施

鑑賞校、開催日時、出演者は次のとおり

(ア)鑑賞校(鑑賞人数) 竹富町立鳩間小中学校(8人)

【鑑賞会】 日 時：令和元年9月3日(火)13:30~14:30

場 所：鳩間小中学校体育館

配 役：若松(上原崇弘) 宿の女(金城真次) 座主(川満香多)

小僧1(池間隼人) 小僧2(宮城昭博) 小僧3(山城峻弥)

後見・解説(比嘉大志)

地 謡：歌・三線(佐久田朝太・仲村逸夫・喜納吏一) 箏(池間北斗)

笛(入嵩西諭) 胡弓(平良大) 太鼓(久志大樹)

(イ)鑑賞校(鑑賞人数) 栗国村立栗国小中学校(43人)

【鑑賞会】 日 時：令和元年11月15日(金)9:40~11:10

場 所：栗国小中学校体育館

配 役：若松(佐喜眞一輝) 宿の女(佐辺良和) 座主(上原崇弘)

小僧1(新垣悟) 小僧2(宮城昭博) 小僧3(島袋浩大)

後見・解説(玉城匠)

地 謡：歌・三線(新垣俊道・棚原健太・徳田泰樹)、箏(池間北斗)

笛(大城建大郎) 胡弓(玉城和樹) 太鼓(横目大通)

【W S】 日 時：令和元年11月14日(木)14:10~14:55

場 所：栗国小中学校体育館 受講人数：小学5年~中学3年27人

(ウ)鑑賞校 久米島町(清水小学校、仲里小学校、大岳小学校、球美中学校)(計314人)

【鑑賞会】 日 時：令和元年11月25日(月)14:00~15:30

場 所：具志川農村環境改善センター

配 役：若松(新垣悟) 宿の女(佐辺良和) 座主(川満香多)

小僧1(比嘉大志) 小僧2(宮城昭博) 小僧3(島袋浩大)

後見・解説(伊藝武士)

地 謡：歌・三線(喜納吏一・仲嶺良盛・佐久田朝太)、箏(宮洲啓介)

笛(入嵩西諭) 胡弓(玉城和樹) 太鼓(久志大樹)

(エ)鑑賞校(鑑賞人数) 沖縄県立宮古特別支援学校、狩俣小学校、西辺中学校(計91人)

【鑑賞会】 日 時：令和元年12月18日(水)10:00~11:30

場 所：宮古特別支援学校体育館

配 役：若松(山城峻弥) 宿の女(佐辺良和) 座主(川満香多)

小僧1(上原崇弘) 小僧2(田口博章) 小僧3(新垣悟)

後見・解説(玉城匠)

地 謡：歌・三線(新垣俊道・仲尾勝成・棚原健太)、箏(池間北斗)

笛(入嵩西諭) 胡弓(玉城和樹) 太鼓(横目大通)

(オ)鑑賞校(鑑賞人数) 石垣市(宮良小学校、白保小学校、新川小学校、登野城小学校、伊野田小学校、吉原小学校、海星小学校、崎枝小中学校、石垣中学校)(計719人)

【鑑賞会】 日 時：令和元年12月19日(木)14:00~15:30

場 所：石垣市民会館

配 役：若松(金城真次) 宿の女(佐辺良和) 座主(川満香多)

小僧1(石川直也) 小僧2(宮城昭博) 小僧3(新垣悟)

後見・解説(比嘉大志)

| | | |
|--------------|---|---|
| | 地 | 謡：歌・三線（玉城和樹・大城貴幸・仲嶺良盛）、箏（宮洲啓介） 笛（大城建太郎） 胡弓（新垣俊道） 太鼓（横目大通） |
| 【W S】 | 日 | 時：令和元年12月20日（金）①9:35～10:20 ②10:35～11:20 |
| | 場 | 所：白保小学校体育館 受講人数：全学年109人 |
| 【W S】 | 日 | 時：令和元年12月20日（金）13:50～14:35 |
| | 場 | 所：宮良小学校体育館 受講人数：小学6年生23人 |
| (カ)鑑賞校（鑑賞人数） | | 伊江村（伊江小学校・西小学校・伊江中学校）（計157人） |
| 【鑑賞会】 | 日 | 時：令和2年1月21日（火）13:30～15:00 |
| | 場 | 所：伊江村農村環境改善センター |
| | 配 | 役：若松（金城真次） 宿の女（佐辺良和） 座主（川満香多） 小僧1（上原崇弘） 小僧2（石川直也） 小僧3（新垣悟） 後見・解説（玉城匠） |
| | 地 | 謡：歌・三線（仲村逸夫、玉城和樹、大城貴幸）、箏（池間北斗） 笛（入嵩西諭） 胡弓（徳田泰樹） 太鼓（久志大樹） |
| 【W S】 | 日 | 時：令和2年1月20日（月）①10:40～11:30 ②11:40～12:30 |
| | 場 | 所：伊江中学校体育館 受講人数：1・2年生109人 |
| 【W S】 | 日 | 時：令和2年1月21日（火）8:40～9:25 |
| | 場 | 所：西小学校体育館 受講人数：5・6年生47人 |

イ「組踊等教育普及事業」組踊ワークショップ・・・沖縄県特別推進交付金事業

事業総額：7,175千円（執行済額7,175千円のうち交付金充当額5,740千円）

目的：(1) 組踊をはじめとする沖縄伝統芸能を学校教育に取り入れることによって、児童生徒に郷土芸能への理解と関心を深めさせ、「心の教育」に寄与する。

(2) 組踊等沖縄の無形文化財（芸能）を児童生徒に鑑賞させることによって、郷土の無形文化財（芸能）への理解と関心を深めさせ、これを保存継承する社会的基盤の形成を図る。

実施方法：沖縄県教育委員会が、沖芸大琉球芸能専攻OB会に事業委託。

実演団体：沖芸大琉球芸能専攻OB会

代表者：金城裕幸

構成員：沖芸大琉球芸能専攻OB会

事業内容：県内の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校を対象に、組踊の三要素である唱え・琉球古典音楽・琉球舞踊をワークショップにて体験する。

実施の際は、三要素のいずれかを重点（【 】で表記）に置いた。

開催校、開催日時、出演者は次のとおり

(ア) 開催校（参加人数）豊見城市立伊良波小学校（110人）

【舞踊】 日 時：令和元年7月12日（金）10:30～12:10

場 所：伊良波小学校体育館

立 方：岸本隼人、西村綾乃、古謝 渚、喜納彩華、比嘉大志、

地 謡：歌・三線（與那國太介、横目大通）、笛（豊里美保）

太鼓（高宮城実人）

(イ) 開催校（参加人数）沖縄市立比屋根小学校（122人）

【音楽】 日 時：令和元年7月16日（火）10:30～12:10

場 所：比屋根小学校体育館

立 方：喜屋武愛香

地 謡：歌・三線（與那國太介、横目大通）笛（金城裕幸）

太鼓（高宮城実人）、胡弓（金城安恵）、箏（名護みのり）

(ウ) 開催校（参加人数）久米島町立清水小学校（140人）

【唱え】 日 時：令和元年9月19日（木）10:30～12:10

場 所：清水小学校体育館

立 方：西村綾乃、嘉数愛美、玉城知世、比嘉大志

地 謡：歌・三線（與那國太介）、太鼓（高宮城実人）

(エ) 開催校（参加人数）宮古島市立鏡原小学校（101人）

【音楽】 日 時：令和元年9月26日（木）14:00～15:50

場 所：鏡原小学校体育館

立 方：川満香多

地 謡：歌・三線（與那國太介、横目大通）、笛（金城裕幸）

- 太鼓（與儀朋恵）、胡弓（平良 大）、箏（名護みのり）
- (オ) 開催校 (参加人数) 県立森川特別支援学校 (37人)
 【音楽】 日 時：令和元年9月27日（金）10:00～11:30
 場 所：森川特別支援学校体育館
 立 方：知花小百合
 地 謡：歌・三線（大城貴幸、瀬良垣幸男）、笛（大城建太郎）
 太鼓（與儀朋恵）、胡弓（平良 大）、箏（名護みのり）
- (カ) 開催校 (参加人数) うるま市立中原小学校 (281人)
 【舞踊】 日 時：令和元年10月15日（火）10:35～12:15
 場 所：中原小学校体育館
 立 方：西村綾乃、川満香多、謝名堂奈津、古謝 渚、喜納彩華
 地 謡：歌・三線（玉城和樹・大城貴幸）、笛（豊里美保）、太鼓（與儀朋恵）
- (キ) 開催校 (参加人数) 沖縄立泡瀬小学校 (120人)
 【舞踊】 日 時：令和元年10月17日（木）10:00～11:30
 場 所：泡瀬小学校体育館
 立 方：西村綾乃、新里春加、謝名堂奈津、玉城知世、喜納彩華
 地 謡：歌・三線（神谷大輔、横目大通）、太鼓（よなは徹）、箏（名護みのり）
- (ク) 開催校 (参加人数) 糸満市立真壁小学校 (152人)
 【音楽】 日 時：令和元年10月29日（火）10:35～12:15
 場 所：真壁小学校体育館
 立 方：喜屋武愛香
 地 謡：歌・三線（名城一幸、喜納吏一）、笛（金城裕幸）
 太鼓（横目大通）、胡弓（與儀朋恵）、箏（名護みのり）
- (ケ) 開催校 (参加人数) 糸満市立光洋小学校 (68人)
 【舞踊】 日 時：令和元年11月8日（金）10:30～12:10
 場 所：光洋小学校体育館
 立 方：西村綾乃、玉城知世、比嘉大志
 地 謡：歌・三線（花城英樹、瀬良垣幸男）、笛（豊里美保）、太鼓（與儀朋恵）
- (コ) 開催校 (参加人数) 那覇市立さつき小学校 (110人)
 【舞踊】 日 時：令和元年11月13日（水）10:40～12:10
 場 所：さつき小学校体育館
 立 方：石川直也、新垣悟、山城亜矢乃、伊佐幸子、奥平由依
 地 謡：歌・三線（よなは徹、長浜真輝）、太鼓（金城安恵）、箏（名護みのり）
- (サ) 開催校 (参加人数) 県立鏡が丘特別支援小学校 (32人)
 【唱 え】 日 時：令和元年11月20日（水）10:00～11:30
 場 所：鏡が丘特別支援学校体育館
 立 方：西村綾乃、川満香多、嘉数愛美
 地 謡：歌・三線（大城貴幸）、太鼓（高宮城実人）
- (シ) 開催校 (参加人数) 与那国町立与那国小学校 (82人)
 【舞踊】 日 時：令和元年11月27日（水）10:00～11:30
 場 所：与那国小学校体育館
 立 方：西村綾乃、喜納彩華、伊藝武士、嘉数愛美
 地 謡：歌・三線（花城英樹、與那國太介）、太鼓（横目大通）、胡弓（與儀朋恵）
- (ス) 開催校 (参加人数) 糸満市立潮平小学校 (128人)
 【舞踊】 日 時：令和元年12月9日（月）10:30～12:10
 場 所：潮平小学校体育館
 立 方：石川直也、西村綾乃、伊佐幸子、新里春加、玉城匠
 地 謡：歌・三線（玉城和樹、大城貴幸）、笛（豊里美保）、太鼓（横目大通）
- (セ) 開催校 (参加人数) 竹富町立船浮小学校、白浜小学校（合同）（計19人）
 【舞踊】 日 時：令和元年12月13日（金）9:40～11:20
 場 所：船浮小学校体育館
 立 方：西村綾乃、新里春加、謝名堂奈津、玉城知世
 地 謡：歌・三線（與那國太介）、太鼓（高宮城実人）、箏（名護みのり）
- (ソ) 開催校 (参加人数) 西原町立西原南小学校 (172人)
 【舞踊】 日 時：令和元年12月17日（火）10:00～11:30
 場 所：西原南小学校体育館
 立 方：西村綾乃、新里春加、岸本隼人

- 地 謡：歌・三線（與那國太介、平良大） 笛（豊里美保）、太鼓（高宮城実人）
- (夕) 開催校 (参加人数) 西原町立西原小学校 (296 人)
- 【音楽】 日 時：令和元年 12 月 18 日 (水) 14:00～15:30
- 場 所：西原小学校体育館
- 立 方：喜屋武愛香
- 地 謡：歌・三線（よなは徹、長浜真輝）、笛（金城裕幸）
太鼓（金城安恵）、胡弓（與儀朋恵）、箏（名護みのり）
- (チ) 開催校 (参加人数) 浦添市立沢岬小学校 (118 人)
- 【舞踊】 日 時：令和元年 12 月 20 日 (金) 9:35～11:25
- 場 所：沢岬小学校体育館
- 立 方：西村綾乃、山城亜矢乃、石川直也、金城真次、奥平由依
- 地 謡：歌・三線（大城貴幸、平良大）、笛（豊里美保）、太鼓（横目大通）
- (ツ) 開催校 (参加人数) 西原町立坂田小学校 (138 人)
- 【唱 え】 日 時：令和 2 年 1 月 10 日 (金) 10:40～12:20
- 場 所：坂田小学校体育館
- 立 方：西村綾乃、謝名堂奈津、古謝渚、嘉数愛美
- 地 謡：歌・三線（大城貴幸）、太鼓（高宮城実人）
- (テ) 開催校 (参加人数) 石垣市立白保中学校 (59 人)
- 【唱 え】 日 時：令和 2 年 1 月 16 日 (木) 14:00～15:40
- 場 所：白保中学校体育館
- 立 方：石川直也、伊佐幸子、西村綾乃、金城真次
- 地 謡：歌・三線（横目大哉）、笛（豊里美保）、太鼓（横目大通）
- (ト) 開催校 (参加人数) 沖縄市立美里小学校 (179 人)
- 【唱 え】 日 時：令和 2 年 1 月 20 日 (月) 10:35～12:15
- 場 所：美里小学校体育館
- 立 方：西村綾乃、玉城知世、比嘉大志、嘉数愛美
- 地 謡：歌・三線（横目大通）、太鼓（金城安恵）

ウ 武道館公演

事業総額：1,652 千円（執行済額 1,652 千円 うち交付金充当額 1,321 千円）

実施方法：沖縄県教育委員会が一般社団法人伝統組踊保存会に事業委託

実演団体：一般社団法人伝統組踊保存会

事業内容：上演演目：組踊（護佐丸敵討）及び三線体験

日 時：令和元年年 11 月 9 日 (土) 16:00～17:20 （三線体験 12:00～16:00 開催）

場 所：県立武道館アリーナ棟内ステージ

解 説：解説者/前川朝文「組踊の成り立ちと特徴」について 演目解説書を鑑賞者全員に配布

鑑賞人数：約 300 人

組 踊：立方 立方指導（真境名律弘）

あまおへ（親泊久玄） 鶴松（東江裕吉） 亀千代（伊藝武士） 母（真境名律弘）

供 1（安次嶺浩和） 供 2（岸本 剛） 供 3（前當正雄）

きやうちやこ持（樋口桔梗之介）

地謡 地謡指導（山城暁）

歌・三線（上地正隆、上間宏敏、渡名喜康広） 箏（比嘉玲子）

笛（中村昌成） 胡弓（川平賀道） 太鼓（國場秀治）

三線体験：体験用三線 10 丁、きらきら星、安波節工四、三線音図を体験

講師 玉那覇昭二 新垣俊道 仲村逸夫 仲嶺良盛

エ 組踊上演 300 周年記念品制作

事業総額：9,607 千円（執行済額 9,607 千円 うち交付金充当額 7,685 千円）

実施方法：沖縄県教育委員会が文進印刷株式会社に事業委託

委託業者：文進印刷株式会社

事業内容：組踊上演 300 周年記念品の制作

小学生対象には下敷き、中学生以上はクリアファイルを制作し、全児童生徒に配布。

(3) 工芸技術

①重要無形文化財の伝承者養成事業

ア) 重要無形文化財「喜如嘉の芭蕉布」伝承者養成事業

事業総額：7,588 千円（国 7,000 千円、県 294 千円、村 293 千円、保存会 1 千円）

実施方法：国・県・大宜味村補助による保存会直営事業

事業主体：喜如嘉の芭蕉布保存会（会長：平良敏子）

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

①技能保持者 5 人、修了生 2 名で、平成 30 年度までの受講生 8 名を対象に個々人の熟練度に応じた技術指導を実施した。本年度行った技術は以下の通り。

1) 芯止め・葉打ち、2) 苧倒し・苧引き・苧炊き、3) 緋結び、4) 染色、
5) 撚り掛け、6) 整経、7) 製織、8) 畑清掃

講 師：平良敏子、平良美恵子、宮城糸美、山城雪枝、翁長洋子、宮城涼子、
稲福千代、桃原秋子、辺土名加代子

伝 承 者：上間奈津美、平良清美、神谷美香、吉田木綿、座間味ゆり香、金城直美、
加藤泉、山城薫

事業期間：令和元年 6 月 10 日～令和 2 年 3 月 25 日

場 所：大宜味村立芭蕉布会館

(2) 資料収集整理事業

古芭蕉布の購入をおこなった。

(3) 原材料・用具の整備事業

良質の糸芭蕉を確保するため、芭蕉畑除草の委託を行った。

(4) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

イ) 重要無形文化財「宮古上布」伝承者養成事業

事業総額：8,535 千円（国 8,000 千円、県 267 千円、市 251 千円、保持団体 17 千円）

実施方法：国・県・宮古島市補助による保持団体直営事業

事業主体：宮古上布保持団体（代表者：新里玲子）

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

①本年度は、図案・手括り（講師 1 名、伝承者 23 名）、染色（講師 1 名、伝承者 2 名）、
織り（講師 2 名、伝承者 3 名）、洗濯・砧打ち（講師 1 名・伝承者 1 名）の 4 部門において実
施した。また、泥藍づくり及び着物デザインについて特別講習を実施した。

講 師：下地達雄（図案・手括り）、平良清子（染色）、上原則子（織り）、
豊見山カツ子（織り）、奥原義盛（洗濯・砧打ち）

伝 承 者：松尾由樹、本村千智（図案・手括り）、荷川取ひろみ（図案・手括り、織
り）、久貝偉久恵、民部麻子（染め）島袋恵（織り）、石嶺明美（織り）、
新里英之（洗濯・砧打ち）

事業期間：平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 24 日

場 所：指導者自宅工房及び研修生自宅

②全重協秀作展等の見学研修を実施した。

③関連技術見学研修（那覇市）を実施した。

④専門的な技術教本の製作をおこなった。

(2) 技術研究事業

琉球藍の藍建て研究を実施した。

(3) 原材料・用具の確保

砧台、機織り機の修繕及び手括り台制作、糸綜統の購入。

(4) 関連技術事業

苧麻績み講座を開講し、経糸講座（講師 1 名、受講者 2 名）、緯糸講座（講師 1 名、受講者
複数名）にて苧麻績み技術を教授し、制作糸の購入をした。

(5) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

ウ) 重要無形文化財「久米島紬」伝承者養成事業

事業総額：8,226 千円（国 8,000 千円、県 113 千円、町 54 千円、保持団体 59 千円）

実施方法：国・県・久米島町補助による保持団体直営事業

事業主体：久米島紬保持団体（代表者：②桃原槇子）

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

- ①養蚕、絹糸作り、糸つむぎ、真綿作り、図案作成、染色の伝承者養成講座（事業）を実施した。
- ②養蚕は、6名の講師で伝承者および実習生に桑の葉の取り方から上族まで毎日5～6回の桑の葉の与え方や、上族の時期等の講習を行った。
- ③絹糸作り、糸つむぎ、真綿作りは、各5名の講師で伝承者および実習生にケンネル（座繰り機）等での糸作り、真綿からの糸ひき、撚糸機の撚りかけ方等の講習を行った。
- ④図案作成は、1名の講師で伝承者に講習を行い、染色は、9名の講師で泥染め技術の講習を行った。
- ⑤資料収集整理事業として、資料調査データ収集し、パソコン等で整理を行った。
- ⑥技術研究事業として、古い久米島紬の調査を行い、技術研究を行った。
- ⑦原材料・用具の確保事業として、養蚕に必要な桑畑の管理を行った。

講 師：イ)養 蚕：①我那覇ケイ子、②桃原槇子、③宮平トシ子、④幸地綾子
⑤高坂エミ子、⑥山城宗太郎

ロ)真綿作り：①我那覇ケイ子、②桃原槇子、③宮平トシ子、④山城宗太郎
⑤高坂エミ子

ハ)絹糸作り：①我那覇ケイ子、②桃原槇子、③宮平トシ子、④幸地綾子
⑤高坂エミ子

ニ)糸つむぎ：①我那覇ケイ子、②桃原槇子、③宮平トシ子、④幸地綾子
⑤高坂エミ子

ホ)図案：①桃原槇子

ヘ)染色：①高坂エミ子②桃原槇子

伝 承 者：①平田とき子、②山城智子、③古堅ヨシエ、④神里智江、⑤儀間勝枝
⑥佐久田康子、⑦仲地洋子、⑧毛利玲子、⑨島袋佐枝

事業期間：平成31年4月1日～令和2年3月30日

場 所：久米島紬の里ユイマール館

(2) 原材料・用具の確保

養蚕に必要な桑畑の管理委託を行った。

(3) その他

- ①文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

エ) 選定保存技術「苧麻糸手績み」伝承者養成事業

事業総額：10,280 千円（国 10,000 千円、県 140 千円、保存会 140 千円）

実施方法：国・県補助による保存会直営事業

事業主体：宮古苧麻糸手績み保存会（会長：小禄裕子）

事業期間：31年4月1日～1年3月26日

場 所：宮古島市、多良間村の各講師宅および公民館等

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

- ・ 初級講習として、宮古上布の原料となる苧麻の収穫から、整経までの5工程を15教室（平良8、下地2、上野2、城辺1、伊良部1、多良間1）において講師各1名、研修生各3～7名で実施した。研修の内容は以下の通り。
1)苧麻刈り取りおよび苧麻引き、2)苧麻裂き、3)苧麻績み、4)撚りかけ、5)かし掛け
- ・ 中級講習として、初級講習修了生等を対象により高度で実践的な技術の指導を行った。
- ・ 自由に参加できるぶーんみ講座にて、講習修了者の継続や研修生候補発掘の場を設けた。
- ・ 文化庁主催の日本の技体験フェアにて、見学研修を行った。
- ・ 糸車等の道具類の修繕および新調を行った。

- (2) 研修発表事業
 - ・ 研修生の研修成果発表会として苧麻糸展示会を開催した。
- (3) 記録の作成及び刊行事業
 - ・ 苧麻績みに適した苧麻品種の調整について、まとめを行った。
- (4) その他
 - ・ 文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。
 - ・ 補助事業の各項目について話し合う事務調整会議を行った。

オ) 選定保存技術「手機製作」技術錬磨及び伝承者養成事業

事業総額：1,112 千円（国 1,106 千円、保持者 6 千円）

実施方法：国・県補助による保持者直営事業

事業主体：大城義政（保持者）

事業内容：手機製作は、手織り用の木製の機（織機）を製作する技術であり、染織品の工芸技術を支える重要な用具製作技術である。長期間乾燥させた木材を使用し、各部材を製材・整形し、組み立てる。この一連の工程には、木材に関する深い知識・加工技術が必要であり、さらに織機の構造・機能、手機（織物）技術に対する理解と知識が要求される。本年度は、手機製作にかかる全工程を伝承者 1 名に伝授した。

伝承者：大城伸悟

事業期間：平成 30 年 4 月 15 日～平成 31 年 3 月 15 日

場所：大城織機製作所

②沖縄県指定無形文化財の伝承者養成事業

ア) 県指定無形文化財「びん型」伝承者養成事業

事業総額：426 千円（県 320 千円、保存会 106 千円）

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：沖縄伝統びん型保存会（代表：城間榮順）

事業内容：本年度は、古びん型から学ぶことをテーマに、型紙を使用して染めるびん型を伝統技法に基づきながら、創作柄の帯を染めた。

- ① 開講式(保持者とその伝承者が参加して、事業の趣旨を十分に理解する)
- ② 古典柄を参考に下絵を作成する。
- ③ 染地型紙・白地型紙を彫るか、もしくは糊袋を作る。
- ④ 彫った型紙を使用して型を置き、もしくは筒描きで模様を描き、色差しをした後、模様を糊で伏せ(ビンウシー)地染めを行う。
- ⑤ 閉講式(作品の講評等)

講師：城間榮順

伝承者：桃原恵子、平良武

事業期間：令和元年 12 月 29 日～令和 2 年 3 月 31 日

場所：各保持者工房

イ) 県指定無形文化財「本場首里の織物」伝承者養成事業

事業総額：351 千円（県 259 千円、保存会 92 千円）

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：沖縄伝統本場首里織物保存会（代表：祝嶺恭子）

事業内容：「ムルドウッチリ」の全工程（製図から製織まで）の技術指導を実施した。各工程については次のとおりである。

- (1)資料研究(2)意匠設計(3)糸精練(4)経糸糊付け(5)耕糸繰返(6)拵整経
- (7)糊付け張り伸ばし(8)マシン(9)経拵括り(10)拵経糸染色(11)経拵解き
- (12)地糸繰り返し(13)地糸整経(14)拵配列張り伸し(15)仮箆通し(16)経巻き
- (17)綜統通し(18)箆通し(19)織り付け(20)緯拵小認め(21)緯拵括り
- (22)緯拵緯糸染色(23)緯拵解き(24)緯糸小管巻き(25)製織(26)整理仕上げ

講師：祝嶺恭子、多和田淑子

伝承者：喜屋武こずえ、野里愛子、眞喜志由香

事業期間：令和元年 8 月 1 日～令和 2 年 9 月 30 日

場所：各保持者工房

ウ) 県指定無形文化財「八重山上布」伝承者養成事業

事業総額：426千円（県 320千円、市 60千円、保存会 46千円）

実施方法：県・市補助による保存会直営事業

事業主体：八重山上布保存会（代表：新垣幸子）

事業内容：今年度は、3か所の工房で補助事業を実施した。中村澄子の工房では、捺染による着尺の指導を行った。講師の技を受講生の経験に応じて技術指導した。新垣幸子の工房では、帯の3倍の長さを要する着尺に取り組んだ。図案作成にも力を入れ、経緯緋の複雑な組み合わせや、色の重なり的美しさ等を指導した。色緋の多さ等から緋括り（地括り）、藍仕込み、染色等の日程に時間がかかり、今年度は試織までを日程とした。松竹喜生子の工房では、手績みの太緯糸を使用して、糸を藍に染め、緋模様の帯地製作を指導した。なお、新垣・松竹の両工房では、苧麻の刈り取りから、苧引き、苧績みに取り組み、さらに八重山藍の栽培、色素取出しの他、紅花の染色法で講習会を開催した。

講 師：中村澄子、新垣幸子、糸数江美子、平良蓉子、松竹喜生子

伝 承 者：中村雪江、崎原克友、松竹未来

事業期間：令和元年9月1日～令和2年1月31日

場 所：各保持者工房

3. 民俗文化財

(1) 民俗文化財

① 沖縄の行事食に関する総合調査事業

事業総額：3,025,086円（国2,420,000円、県605,086円）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：沖縄県教育委員会

事業期間：平成31年4月1日から令和2年3月31日

事業目的：沖縄県の行事食は、先祖崇拝や民間信仰といった沖縄の基層文化と深く結びついており、その食材、調理法や用具、祭祀における取扱等の習俗について地域的な特色が見られる。本調査事業は、沖縄の行事食の実態の把握と各地域の状態、文化財的価値などを明らかにするために、全県的、民俗学的総合調査を実施し、民俗文化財の保護・活用と文化財保護施策推進に資する基礎資料を作成することを目的とする。

実施場所：県内全域（沖縄本島、本島周辺離島、宮古諸島、八重山諸島）

事業概要：調査地を、沖縄本島北部・中部・南部及び周辺離島、宮古諸島、八重山諸島に区分し、文化財調査員及び調査協力員が行事食に関する総合調査を行い、調査報告書を刊行した。

調査委員：赤嶺 政信（琉球大学名誉教授）

萩原 左人（琉球大学地域創造学部教授）

本永 清（県文化財保護審議会審議委員）

波平 エリ子（沖縄女子短期大学総合ビジネス学科准教授）

阿利 よし乃（沖縄県立博物館・美術館学芸員）

大城 博美（沖縄国際大学非常勤講師）

井口 学（沖縄民俗学会員）

萩尾 俊章（沖縄県教育庁文化財課）

調査協力員：5名

② 第61回九州地区民俗芸能大会

事業総額：2,838,800円（県500,000円、町360,000円、団体1,978,800円）

事業種別：県単独補助事業

事業主体：一般財団法人嘉手納町野里共進会（嘉手納町）

大会名称：第61回九州地区民俗芸能大会

開催期日：令和元年11月17日（日）

開催場所：都城市総合文化ホール（宮崎県都城市）

派遣芸能：野里の道イリクと野里棒は、昭和51年に嘉手納町の無形民俗文化財に指定され、町内外問わず多くの祭りなどで披露されている芸能である。

野里の道イリクは、凱旋の引き際のようなすを演じた芸能と言われ、ショウブ鐘にあわせて太鼓を打ち鳴らす演舞である。野里棒は、武術として普及したといわれている芸能である。二人一組で演武する「組棒」と「一人棒」があり、六尺棒と三尺棒を用いる。現在、組棒の種類は49組のうち11組が継承されている。

両方の芸能とも、空白期があるものの、当時演舞を経験した野里出身者に、聞き取り調査を行い復活させている。かつて野里集落があった場所は、嘉手納飛行場となっているため、野里

共進会を活動拠点とし、芸能の保存・継承及び育成活動に取り組んでいる。また、野里の道イリク、野里棒は、今も野里集落出身の男性のみで行うということを守り続け、継承している。

出演演目：

| | 芸 能 名 | 出演団体 |
|---|---------------------------------|----------------------|
| 1 | くらおかきおんかぐら 鞍岡祇園神楽 | 鞍岡祇園神社神楽保存会（宮崎県） |
| 2 | いじゅういんちょうとくしげう 伊集院町徳重大バラ太鼓踊り | 徳重大太鼓踊り保存会（鹿児島県） |
| 3 | いなどうかぐら 稲童神楽 | 稲童神楽保存会（福岡県） |
| 4 | つるさきおどり 鶴崎踊 | 鶴崎おどり保存会（大分県） |
| 5 | きかもとふりゆう 坂本浮立 | 坂本浮立保存会（長崎県） |
| 6 | こうげ あらおどり 高瀬の荒踊 | 高瀬荒踊保存会（佐賀県） |
| 7 | ひごかぐら 肥後神楽 | 川島神楽連（熊本県） |
| 8 | のぎと みち 野里の道イリク、野里棒 | 一般財団法人嘉手納町野里共進会（沖縄県） |
| 9 | くまそおどり 熊襲踊 | 熊襲踊保存会（宮崎県） |

※ 九州各県から1団体、開催地熊本県は2団体

【第61回九州地区民俗芸能大会 本公演より】



「野里の道イリク」



「野里棒」



4. 記念物

(1) 史跡・名勝・文化的景観

本県における国指定の史跡・名勝（特別名勝、国の登録記念物を含む）及び国選定の文化的景観、県指定の史跡・名勝の件数は合計126件（令和2年5月1日現在）である。令和元年10月16日には今帰仁村の「今泊フクギ屋敷林及び集落景観」が県内2番目となる国の重要文化的景観に選定され、令和2年3月10日に石垣市の白保竿根田原洞穴遺跡が国の史跡に指定された。今後も貴重な文化財の適切な保護と保存、活用を図るために、指定文化財の件数を増やしていく必要がある。

史跡・名勝等の復元整備等については、現在、国・県の指定文化財を中心に進めている。令和元年度は国指定史跡の「勝連城跡」、「今帰仁城跡附シイナ城跡」、「中城城跡」、「具志川城跡：久米島町」、「浦添城跡」、「知念城跡」、「内間御殿」、「糸数城跡」、「フルスト原遺跡」、「伊礼原遺跡」、「北大東島燐鉱山遺跡」、「先島諸島火番盛（小城盛）」、「円覚寺跡」、「今帰仁城跡附シイナ城跡」（災害復旧）、「中城城跡」（災害復旧）、「北大東島燐鉱山遺跡（災害復旧）」、「糸数城跡（災害復旧）」、「具志川城跡（災害復旧）：糸満市」及び名勝「伊江殿内庭園」において歴史活き活き史跡等総合整備活用整備事業を実施した。また、八重瀬町では「ハナンダー（自然橋）」の名勝地調査事業を実施した。また、史跡等買上事業（直接買上）では、国指定史跡の「勝連城跡」、「佐敷城跡」、国指定名勝の「大和井」にて実施し、国指定名勝「伊江御殿別邸庭園」、国指定史跡「伊礼原遺跡」については買上事業の先行取得償還を実施した。国指定史跡の「具志川城跡：久米島町」、「座喜味城跡」、「糸数城跡」、「中頭方西海道及び普天満参詣道」、及び国指定名勝の「川平湾及び於茂登岳」において史跡等保存活用計画策定事業をそれぞれ実施した。県指定史跡・名勝「首里金城町石畳道」において首里金城町石畳道保存修理事業を、県指定史跡「ミントングスク」において県指定文化財管理事業を実施した。

①受託事業

発掘調査事業

- ・「首里城跡」発掘調査業務

内閣府沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所の公園整備事業に伴うもので、首里城地区発掘関連資料整理及び報告書作成業務をおこない、「首里城跡」美福門磴道地区発掘調査報告書を刊行した。

事業主体：沖縄県

事業費：4,193,000円

②国庫補助事業

ア) 史跡等保存活用計画策定事業

- a) 事業名：史跡「具志川城跡」史跡等保存活用計画策定事業

事業主体：久米島町

事業経費：4,377,449円（国3,501,000円、県113,000円 町763,449円）

事業内容：○報告書を刊行した。

◇具志川城跡保存活用計画策定委員会

1)令和元年11月6日（久米島博物館）

2)令和元年12月26日（国建事務所）

3)令和2年1月29日（久米島博物館）

- b) 事業名：史跡「座喜味城跡」史跡等保存活用計画策定事業

事業主体：読谷村

事業経費：4,285,000円（国3,428,000円、県110,000円 村747,000円）

事業内容：○報告書を刊行した。

◇座喜味城跡保存活用計画策定委員会

1)令和元年7月23日（読谷村教育委員会）

- 2)令和元年11月29日（読谷村教育委員会）
- 3)令和2年2月4日（読谷村教育委員会）
- c) 事業名：史跡「糸数城跡」史跡等保存活用計画策定事業
 - 事業主体：南城市
 - 事業経費：2,787,745円（国2,230,000円、県0円 市557,745円）
 - 事業内容：○報告書を刊行した。
 - ◇糸数城跡保存活用計画策定委員会
 - 1)令和元年7月29日（南城市役所）
 - 2)令和元年10月7日（南城市役所）
 - 3)令和2年1月30日（南城市役所）
- d) 事業名：史跡「中頭方西海道及び普天満参詣道」史跡等保存活用計画策定事業
 - 事業主体：浦添市
 - 事業経費：2,121,800円（国1,576,000円、県0円 市545,800円）
 - 事業内容：○中間報告書を作成した。
 - ◇中頭方西海道及び普天満参詣道保存活用計画策定委員会
 - 1)令和2年1月31日（浦添市役所）
 - 2)令和2年3月11日（浦添市役所）
- e) 事業名：名勝「川平湾及び於茂登岳」史跡等保存活用計画策定事業
 - 事業主体：石垣市
 - 事業経費：2,451,911円（国1,920,000円、県0円 市531,911円）
 - 事業内容：○報告書を刊行した。
 - ◇川平湾及び於茂登岳保存活用計画策定委員会
 - 1)令和元年8月22日（石垣市教育委員会）
 - 2)令和元年12月18日（石垣市教育委員会）

イ) 歴史活き活き史跡等総合活用整備事業

- a) 事業名：史跡「勝連城跡」歴史活き活き史跡等総合整備活用整備事業
 - 事業主体：うるま市
 - 事業経費：24,601,132円（国1,968,000円、県644,000円、市4,277,132円）
 - 事業内容：○東の曲輪の遺構調査を実施した。
 - 西原御門付近の石畳道の舗装工事、四の曲輪の雨水処理施設の切り回し工事を実施した。
 - ◇勝連城跡整備委員会
 - 1)令和2年3月4日（うるま市役所・史跡「勝連城跡」）
 - 2)令和2年3月18日（うるま市役所・史跡「勝連城跡」）
- b) 事業名：史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」歴史活き活き史跡等総合整備活用整備事業
 - 事業主体：今帰仁村
 - 事業経費：11,022,000円（国8,817,000円、県292,000円、村1,913,000円）
 - 事業内容：○外郭地区等において、サイン設置工事を実施した。
 - 保存修理事業の成果公開のための整理作業を実施した。
 - ◇今帰仁城附シイナ城跡整備委員会
 - 1)令和元年6月20日（今帰仁村歴史文化センター・史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」）
- c) 事業名：史跡「中城城跡」歴史活き活き史跡等総合整備活用整備事業
 - 事業主体：中城村
 - 事業経費：32,001,172円（国25,600,000円、県810,000円、村5,591,172円）

- 事業内容：○一の郭内の北側城壁内面沿いで遺構確認を目的に発掘調査を実施した。
○過去に実施したレーザー測量及び写真測量で得られた一の郭城壁のデータを図化した。
○一の郭北側城壁上段石積と下段石積の一部の解体積み直しを行った。

◇中城城跡整備委員会

- 1)令和元年5月20日（中城城跡2階会議室）
- 2)令和元年11月20日（中城城跡2階会議室）

- d) 事業名：史跡「具志川城跡：久米島町」歴史活き活き史跡等総合整備活用整備事業
事業主体：久米島町
事業経費：8,959,557円（国7,167,000円、県236,000円、町1,556,557円）
事業内容：○三の郭において平成30年度に崩落した箇所をボーリングで調査をした。
○三の郭において令和元年度に崩落した石積の復旧整備の設計業務を実施した。
○城門前の会談以降の解説板を1基設置した。

◇具志川城跡整備委員会

- 1)令和元年11月7日（久米島町博物館講堂・史跡「具志川城跡」）
- 2)令和元年12月16日（株式会社国建事務所）

- e) 事業名：史跡「浦添城跡」歴史活き活き史跡等総合整備活用整備事業
事業主体：浦添市
事業経費：10,004,969円（国8,000,000円、県260,000円、市1,744,969円）
事業内容：○城跡北側崖面において岩崩落対策工事にかかる調査を実施した。
○発掘調査報告書刊行に向けて遺物観察表、遺構図面レイアウト、拓本等を作成した。

- f) 事業名：史跡「知念城跡」歴史活き活き史跡等総合整備活用整備事業
事業主体：南城市
事業経費：11,789,847円（国9,431,000円、県307,000円、市2,051,847円）
事業内容：○西側城壁と北側城壁の間に位置している石積の崩落箇所の地質調査を行った。
○西側城壁の解体積み直しの設計を行い、北側城壁の写真測量を行った。

◇知念城跡整備委員会

- 1)令和元年11月18日（南城市役所、知念城跡）
- 2)令和2年2月20日（南城市役所、知念城跡）

- g) 事業名：史跡「内間御殿」歴史活き活き史跡等総合整備活用整備事業
事業主体：西原町
事業経費：6,675,642円（国5,340,000円、県174,000円、町1,161,642円）
事業内容：○東殿の西、北、東側において各1箇所ずつ神殿基壇縁石に沿って発掘調査を実施した。

- h) 事業名：名勝「伊江殿内庭園」歴史活き活き史跡等総合整備活用整備事業
事業主体：那覇市
事業経費：7,994,030円（国6,395,000円、県212,000円、市1,387,030円）
事業内容：○庭園の主庭部の陽刻文字4文字の保存処置業務を実施した。

◇伊江殿内庭園整備検討会及び整備委員会

- 1)令和元年11月28日（首里公民館・名勝伊江殿内庭園）
- 2)令和2年2月25日（首里公民館・名勝伊江殿内庭園）

- i) 事業名：史跡「伊礼原遺跡」歴史活き活き史跡等総合整備活用整備事業
事業主体：北谷町
事業経費：77,987,440円（国62,389,000円、県2,032,000円、市13,566,440円）
事業内容：○低湿地区において園路広場設置工、建築施設組立、橋の設置、植栽工を実施した。
○砂丘区（縄文広場）において園路広場設置工、建築施設組立、管渠設置工を実施した。

◇伊礼原遺跡整備検討会及び整備委員会

- 1)令和元年10月10日（北谷町役場）
- 2)令和2年3月5日（北谷町役場・伊礼原遺跡）

j) 事業名：史跡「北大東島燐鉱山遺跡」歴史生き生き史跡等総合整備活用整備事業

事業主体：北大東村

事業経費：24,693,000円（国10,816,000円、県350,000円、村13,527,000円）

事業内容：○整備基本計画を策定した。

○燐鉱石貯蔵庫に高潮を監視するためのカメラを設置した。

◇北大東島燐鉱山遺跡整備委員会

1)令和元年5月28日（北大東村役場・史跡「北大東島燐鉱山遺跡」）

2)令和元年8月20日（株式会社国建事務所会議室）

3)令和元年12月12日（株式会社国建事務所会議室）

k) 事業名：史跡「糸数城跡」歴史生き生き史跡等総合整備活用整備事業

事業主体：南城市

事業経費：8,055,011円（国6,444,000円、県216,000円、市1,395,011円）

事業内容：○整備基本計画を策定した。

○指定地内において「根石グスク」、「佐南グムイ」、「蔵屋敷」の標柱を設置した。

◇糸数城跡整備委員会

1)令和元年11月27日（南城市役所会議室・史跡「糸数城跡」）

2)令和2年2月19日（南城市役所会議室）

l) 事業名：史跡「フルスト原遺跡」歴史生き生き史跡等総合整備活用整備事業

事業主体：石垣市

事業経費：8,656,876円（国6,925,000円、県230,000円、市1,501,876円）

事業内容：○第1号～5号石塁の平面測量を実施した。

○出土資料のうち、陶磁器・土器・獣魚骨の整理を実施した。骨製品の実測、デジタル図化を委託により実施した。

○フルスト原遺跡発掘調査報告書を刊行した。

m) 事業名：史跡「先島諸島火番盛/小城盛」歴史生き生き史跡等総合整備活用整備事業

事業主体：竹富町

事業経費：3,273,170円（国2,618,000円、県0円、町655,170円）

事業内容：○平成30年度に崩落した石積の一部修復及びレーザー測量を実施した。

n) 事業名：史跡「円覚寺跡」歴史生き生き史跡等総合整備活用整備事業

事業主体：沖縄県

事業経費：27,938,103円（国22,350,000円、県5,588,103円）

事業内容：○三門復元に向けて、業務委託により実施設計を作成した。

○琉球政府文化財保護委員会が設置したコンクリート製標柱が老朽していたため撤去した。

◇史跡「円覚寺跡」建築部会

1)令和元年10月24、25日（株式会社国建9階会議室）

o) 事業名：史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」歴史生き生き史跡等総合整備活用整備事業（災害復旧）

事業主体：今帰仁村

事業経費：15,425,000円（国13,111,000円、県323,000円、村1,991,000円）

事業内容：○主郭において網の設置による落石防止対策工事を実施した。

○主郭城郭のレーザー測量、測量設計を実施した。

p) 事業名：史跡「中城城跡」歴史生き生き史跡等総合整備活用整備事業（災害復旧）

事業主体：中城村

事業経費：32,941,201円（国28,000,000円、県696,000円、村4,245,201円）

事業内容：○西の郭北端の岩盤崖下の盛土予定箇所を発掘調査を実施した。

○災害発生箇所南側の岩盤基盤層を保護するための盛土と土留めの巨石設置、地滑り防止のための整地を実施した。

q) 事業名：史跡「北大東島燐鉱山遺跡」歴史活き活き史跡等総合整備活用整備事業（災害復旧）

事業主体：北大東村

事業経費：37,032,000円（国31477,000円、県683,000円、村4,872,000円）

事業内容：○毀損した石積遺構とトンネルアーチ端部の復元、修復工事を実施した。

r) 事業名：史跡「糸数城跡」歴史活き活き史跡等総合整備活用整備事業（災害復旧）

事業主体：南城市

事業経費：1,507,123円（国1,281,000円、県0円、市226,123円）

事業内容：○崩落した南の虎口跡城壁の積み直し工事を実施した。

s) 事業名：史跡「具志川城跡：糸満市」歴史活き活き史跡等総合整備活用整備事業（災害復旧）

事業主体：糸満市

事業経費：4,264,694円（国3,624,000円、県85,000円、市555,694円）

事業内容：○崩落箇所のレーザー測量を行い、修復に係る設計を行った。

○破損したデッキ園路手摺りとスーフチミー（縦穴）蓋の修理を実施した。

ウ) 名勝地調査事業

事業名：ハナンダー（自然橋）名勝地調査事業

事業主体：八重瀬町

事業経費：3,484,760円（国2,787,000円、県99,000円、町598,760円）

事業内容：○ハナンダーの保全の必要性及び価値を検証し、把握するため地質調査とレーザー測量及び航空写真の撮影を実施した。

○「ハナンダー（自然橋）名勝地調査報告書」を刊行した。

エ) 史跡等の土地買上げ事業

a) 事業名：史跡「勝連城跡」史跡等買上げ（直接買上げ）事業

事業主体：うるま市

事業経費：17,062,000円（国13,649,000円、県315,000円、市3,098,000円）

買上げ実績：216.00㎡ 1筆

b) 事業名：史跡「大和井」史跡等買上げ（直接買上げ）事業

事業主体：宮古島市

事業経費：827,270円（国661,000円、県0円、市166,270円）

買上げ実績：44.74㎡ 1筆

c) 事業名：史跡「佐敷城跡」史跡等買上げ（直接買上げ）事業

事業主体：南城市

事業経費：91,636,408円（国73,309,000円、県1,648,000円、市16,679,408円）

買上げ実績：4,721.00㎡ 8筆

d) 事業名：名勝「伊江御殿別邸庭園」史跡等買上げ（先行取得償還）事業

事業主体：那覇市

事業経費：97,716,000円（国78,172,000円、県1,770,000円、市17,774,000円）

買上げ実績：平成23年度より10年間にわたり起債等による借入金を国・県の補助を得て年次計画で償還していく。

e) 事業名：史跡「伊礼原遺跡」史跡等買上げ（先行取得償還）事業

事業主体：北谷町

事業経費：180,674,004円（国144,539,000円、県3,270,000円、町36,135,004円）

買上げ実績：平成23年度より10年間にわたり起債等による借入金を国・県の補助を得て年次計画で償還していく。

③県補助事業

ア) 史跡・名勝保存修理事業

事業名：県指定史跡・名勝「首里金城町石畳道」保存修理事業

事業主体：那覇市

事業経費：600,000円（県300,000円、市300,000円）

事業内容：○石畳道の所々に石の欠損や沈下が確認されており、通行に支障をきたしていたため補修を行った。

イ) 管理事業

事業名：県史跡「ミントングスク」管理事業

事業主体：南城市

事業経費：100,000円（県50,000円、市50,000円）

事業内容：○県史跡ミントングスクの適切な保存と活用を図るために、文化財指定地域の雑草木の除去及び清掃を史跡管理者に委託で実施した。

④史跡・名勝の現状変更等

1) 史跡「仲泊遺跡」の現状変更（平成31年4月23日付沖縄県教育委員会指令第29号）

昭和52年に設置され老朽した鉄筋コンクリート造の休憩所の撤去を沖縄県教育委員会が許可。

2) 県名「サンニヌ台」の現状変更（令和元年5月7日付け沖縄県教育委員会指令第32号）

与那国町による岩石試料の採取を沖縄県教育委員会が許可。

3) 史跡「知念城跡」の現状変更（令和元年5月17日付け31受文庁第4号の232）

南城市によるボーリングによる地質調査及び西側城壁の積み直しを文化庁が許可。

4) 史跡「糸数城跡」の現状変更（令和元年5月17日付け31受文庁第4号の233）

南城市による正門南側城壁沿いの発掘調査、文化財標柱設置、南の虎口跡城壁積み直し工事を文化庁が許可。

5) 県名勝「万座毛」の現状変更（令和元年6月20日付沖縄県教育委員会指令第44号）

学校法人沖縄科学技術大学院大学が砂礫採取及びモニタリング調査を沖縄県教育委員会が許可。

6) 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」の現状変更（令和元年6月21日付け元受文庁第4号の93）

今帰仁村による外郭地区から平郎門へ至るルートの発掘調査、屋敷地等へのサイン設置を文化庁が許可。

7) 史跡「浦添城跡」の現状変更（令和元年6月21日付け元受文庁第4号の94）

浦添市による内郭西地区城壁外面沿いの発掘調査、現代石垣の撤去、排土礫の仮置きを文化庁が許可。

8) 名勝「久部良バリ及び久部良フリシ」の現状変更（令和元年6月21日付け元受文庁第4号の91）

与那国町が指定地内の八重山層群の砂岩の風化に関する調査に伴う試料採取を文化庁が許可。

9) 史跡「中城城跡」の現状変更（令和元年6月21日付け元受文庁第4号の194）

中城村がイベント等の活用を行っている城郭東側の広場において、ターフパーキングを芝生の上に敷き詰める整備を文化庁が許可。

10) 史跡「北大東島燐鉱山遺跡」の現状変更（令和元年6月21日付け元受文庁第4号の219）

北大東村による貯蔵庫跡の南側石積解体、天端補強工事、南側坑口アーチ部の剥落部の復元を文化庁が許可。

11) 史跡「弁之御嶽」及び名勝「アマクスイ 弁之御嶽」の現状変更（令和元年7月19日付け元受文庁第4号の264）

弁嶽ノ川内部の石積解体積み直し、弁嶽ノ川上部の屋根の設置を文化庁が許可。

12) 県名勝「宜野湾市森の川」の現状変更（令和元年7月2日付沖縄県教育委員会指令第47号）

真志喜共有財産保存会が指定地内で、作業用道路の使用を沖縄県教育委員会が許可。

- 13) 名勝「東平安名崎」の現状変更（令和元年7月19日付け元受庁財第4号の333）
学校法人沖縄科学技術大学院大学が指定地内の海域において、サンゴ礁の美しさと重要性を世界に広く周知させるための学術研究を目的としたサンゴ礁海域調査「100 Island Challenge」を文化庁が許可。
- 14) 名勝及び天然記念物「八重干瀬」の現状変更（令和元年7月19日付け元受庁財第4号の334）
学校法人沖縄科学技術大学院大学が指定地内の海域において、サンゴ礁の美しさと重要性を世界に広く周知させるための学術研究を目的としたサンゴ礁海域調査「100 Island Challenge」を文化庁が許可。
- 15) 史跡「内間御殿」の現状変更（令和元年7月19日付け元受文庁第4号の432）
西原町による東江御殿の神殿基壇部外側発掘調査を文化庁が許可。
- 16) 名勝「川平湾及び於茂登岳」の現状変更（令和元年7月19日付け元受庁財第4号の433）
日本放送協会 沖縄放送局が自営受電線の劣化等に伴い、新設する地上の自営電線等の整備を文化庁が許可。
- 17) 史跡「円覚寺跡」（那覇市）の現状変更（令和元年7月19日付け元受庁財第4号の484）
那覇市が指定地内にある龍淵橋の天端の石畳の一部が経年劣化や観覧者の往来等によるわだちの修理を文化庁が許可。
- 18) 史跡「先島諸島火番盛（小城盛）」の現状変更（令和元年7月19日付け元受庁財第4号の485）
竹富町が小城盛（クスクムイ）の石積みの修復を文化庁が許可。
- 19) 史跡「今帰仁所跡附シイナ城跡」の現状変更（令和元年7月19日付け元受文庁第4号の494）
今帰仁村による石積崩落面の中込石の除去、崩落防止ネットの設置、崩落面底部の発掘調査を文化庁が許可。
- 20) 史跡「勝連城跡」の現状変更（令和元年8月7日付け元受文庁第4号の524）
うるま市による東の郭南側の発掘調査を文化庁が許可。
- 21) 史跡「勝連城跡」の現状変更（令和元年9月20日付け元受文庁第4号の870）
うるま市による石畳道復元工事、法面整形工事、雨水排水設備工事、樹木の伐採を文化庁が許可。
- 22) 史跡「北大東島燐鉱山遺跡」の現状変更（令和元年9月20日付け沖縄県教育委員会指令第60号）
北大東村によるボーリングによる指定地内の地質調査を沖縄県教育委員会が許可。
- 23) 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」の現状変更（令和元年9月30日付け沖縄県教育委員会指令61号）
今帰仁村によるイベント開催に伴う仮設テント等の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 24) 史跡「中城城跡」の現状変更（令和元年10月10日付け沖縄県教育委員会指令66号）
中城村によるイベント開催に伴う仮設舞台、仮設テント等の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 25) 史跡「山田城跡」の現状変更（令和元年10月18日付け元受文庁第4号の999）
恩納村による指定地南側の発掘による遺構確認調査を文化庁が許可。
- 26) 史跡「中城城跡」の現状変更（令和元年10月21日付け沖縄県教育委員会指令68号）
中城村によるイベント開催に伴う仮設舞台、仮設テント等の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 27) 県史「龍潭及びその周辺」の現状変更（令和元年10月24日付け沖縄県教育委員会指令第69号）
首里城祭実行委員会によるろうそくカップ約2,000個の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 28) 史跡「内間御殿」の現状変更（令和元年11月7日付け沖縄県教育委員会指令第70号）
西原町による指定地内へのカーブミラーの設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 29) 県史「伊是名玉御殿」の現状変更（令和元年11月13日付け沖縄県教育委員会指令第71号）
伊是名村による石段脇の発掘調査を沖縄県教育委員会が許可。
- 30) 史跡「具志川城跡」の現状変更（令和元年12月5日付け沖縄県教育委員会指令第76号）
久米島町による三の郭崩落面の土質調査及び樹木の伐採を沖縄県教育委員会が許可。
- 31) 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」の現状変更（令和元年12月6日付け沖縄県教育委員会指令75号）
一般社団法人創作芸団レキオスによるイベント開催に伴う仮設舞台等の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 32) 史跡「首里城跡」及び名勝「首里城書院・鎖之間庭園」の現状変更（令和元年12月20日付け元受文庁第4号の1461）
国営沖縄記念公園事務所による火災によって焼失した首里城正殿、北殿、南殿、番所、書院・鎖之間、庭園、

黄金御殿、寄満、近習詰所、二階御殿、奥書院、奉神門、女官居室のがれき撤去及びコンクリート躯体の解体、仮設道路の整備を文化庁が同意。

- 33) 史跡「伊礼原遺跡」の現状変更（令和2年1月17日付け元受文庁第4号の1564）
北谷町による低湿地区及び縄文広場における園路舗装工、東屋設置等を文化庁が許可。
- 34) 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」の現状変更（令和2年1月17日付け沖縄県教育委員会指令3号）
今帰仁村によるイベント開催に伴う仮設舞台、仮設テント等の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 35) 史跡「首里城跡」の現状変更（令和2年2月4日付け元受文庁第4号の1735）
国営沖縄記念公園事務所による仮設足場及び段差解消仮設通路の設置を文化庁が同意。
- 36) 史跡「勝連城跡」の現状変更（令和2年2月14日付け元受文庁第4号の1725）
うるま市による指定地内の墳墓の撤去を文化庁が許可。
- 37) 史跡「首里城跡」の現状変更（令和2年3月9日付け元受文庁第4号の1962）
国営沖縄記念公園事務所による正殿の遺構露出箇所への覆屋、見学デッキ、仮設通路の設置を文化庁が同意。
- 38) 県史名「首里金城町石畳道」の現状変更（令和2年3月17日付け沖縄県教育委員会指令第9号）
那覇市による石畳の修繕工事を沖縄県教育委員会が許可。
- 39) 史跡「円覚寺跡」（沖縄県）の現状変更（令和2年3月19日付け沖縄県教育委員会指令第15号）
沖縄県が琉球政府文化財保護委員会設置の標柱の撤去と埋め戻しを沖縄県教育委員会が許可。
- 40) 史跡「首里城跡」及び名勝「首里城書院・鎖之間庭園」の現状変更（令和2年3月24日付け元受文庁第4号の2100）
国営沖縄記念公園事務所による首里城正殿の遺構露出箇所の覆砂除去、がれき除去、遺構乾燥、遺構クリーニング、遺構部の樹脂強化処理、脱落石材片の接着と各種修復を文化庁が同意。
- 41) 史跡「知念城跡」の現状変更（令和2年4月17日付け元受文庁第4号の2168）
南城市による仮設足場の設置にかかる後出しの現状変更許可申請を文化庁が許可。

(2) 天然記念物

①天然記念物緊急調査（国庫補助事業）

事業名：天然記念物緊急調査（トゲネズミ）

事業総額：3,211千円（国2,568千円、県643千円）

事業主体：沖縄県

事業期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日

（平成29年度～令和3年度までの5年間継続事業）

事業目的：沖縄本島北部に生息する野生のネズミである。生態や個体数などについては、未だ不明な点が多く近年目撃事例も非常に少ない。2008年に再確認されるまで絶滅すら危ぶまれた。今後具体的な保護策を講じる上でも、生息状況を把握するための緊急調査を実施する必要がある。

事務局：沖縄県教育庁文化財課

事業内容：(1)調査地 沖縄本島北部地域

(2)調査項目

- a) 生息実態調査
- b) 行動観察等

②天然記念物食害対策事業（国庫補助事業）

事業名：国指定天然記念物食害対策事業（ノグチゲラ）

事業総額：5,545千円（国3,695千円、県293千円、国頭村1,557千円）

事業主体：国頭村

事業期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日

事業目的：国指定特別天然記念物ノグチゲラを含めた鳥類による農作物（柑橘類）への食害状況の把握と、食害防止のために設置される保護網にノグチゲラが羅網し、滅失する事に対して、より効果的な

保護網の材質や設置などについての検証実験を行うものである。保護網の実証実験については、ノグチゲラの羅網防止効果とともに、将来の保護網の普及を考慮し、より安価で設置が容易であるという観点についても検討を行う。

具体的には、周辺環境のモニタリング調査（畑周辺の植生及び鳥類調査）、保護網実証、農家へのヒアリング、目視や自動撮影カメラ等による食害モニタリングを行う。

③天然記念物再生事業（国庫補助事業）

事業名：天然記念物再生（慶佐次湾のヒルギ林）

事業総額：6,820千円（国5,456千円、県361千円、東村1,003千円）

事業主体：東村

事業期間：令和元年7月16日～令和2年2月28日

（平成28年度～令和3年度までの6年間継続事業）

事業目的：河川周辺からの赤土等の流入による天然記念物植生域の陸地化等による外来生物の侵入、植生分布範囲の拡大による河川生態系への劣化が懸念されているため、外来生物及び特定外来生物の分布調査を行い、駆除及び防除策を実施し、今後の適正な維持管理体制を構築する。

④天然記念物再生事業（国庫補助事業）

事業名：天然記念物再生（平久保のヤエヤマシタン）

事業総額：2,349千円（国1,879千円、県124千円、石垣市346千円）

事業主体：石垣市

事業期間：平成31年4月1日～令和2年3月25日

（平成29年度～平成30年度までの2年間継続事業）

事業目的：ヤエヤマシタンはマメ科に属する高木種で、石垣市平久保に残っている自生地が我が国における植物分布上北限を示している。近年、シタンヒメヨコバイによる被害が目立ち、放置すると枯死する可能性がある。また、樹勢の衰えも目立つため、土壌改良を行い樹勢の回復に努める。

⑤天然記念物緊急調査（国庫補助事業）

事業名：与那国島の断層帯天然記念物再生（与那国の断層帯）

事業総額：2,583千円（国2,066千円、県175千円、与那国町342千円）

事業主体：与那国町

事業期間：平成31年4月1日～令和2年3月19日

（平成29年度～平成31年度までの3年間継続事業）

事業目的：与那国島内各所でみられる自然環境的な記念物に対する保護意識の高まりの中、開発行為等による改変や、環境変化によって保存が危ぶまれている地形・地質があることから、現状を正確に把握することや、その保護に資する調査の緊急性及び、地域における資料など集約のため、過去の調査報告等を踏まえ、調査及び現状における保全の必要性の検証を行う。

⑥天然記念物再生事業（国庫補助事業）

事業名：天然記念物再生（首里金城の大アカギ）

事業総額：3,251千円（国2,601千円、県171千円、那覇市479千円）

事業主体：那覇市

事業期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日

（平成30年度～令和元年度までの2年間継続事業）

事業目的：首里金城の大アカギは樹齢200年以上と推定される5本の大木群であり、平成29年度に簡易的な樹勢の診断業務を行ったところ、良好な状態ではないことが判明した。そのため、樹勢回復を目的とした再生事業を実施する。

⑦天然記念物の現状変更等
令和元年度

- | | |
|---|----------------------|
| 1) 【県天】フタオチョウの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 | (H31.4.3 許可) |
| 申請者(日付): 宜野湾市教育委員会教育長 | (H31.3.22) |
| 許可(期間): 平成31年4月3日付け 沖縄県教育委員会指令第22号 | (H31.4.3 ~R2.3.31) |
| 2) 【県天】イシカワガエル他2種の現状変更(試料採取)申請 | (H31.4.19 許可) |
| 申請者(日付): 広島大学両生類研究センター長 | (H31.4.19) |
| 許可(期間): 平成31年4月19日付け 沖縄県教育委員会指令第27号 | (H31.4.19 ~R4.3.31) |
| 3) 【国天】米原のヤエヤマヤシ群落の現状変更(動物調査及び工作物設置)協議 | (H31.4.15 進達) |
| 協議者(日付): 環境省地方環境事務所那覇自然環境事務所 | (H31.3.15) |
| 同意(期間): 令和1年5月17日付け 31受文庁第4号の122 | (R1.5.17 ~R1.7.31) |
| 4) 【国天】セマルハコガメの現状変更(永年飼育・教育普及)申請 | (H31.4.19 許可) |
| 申請者(日付): 南城市長 | (H31.4.5) |
| 許可(期間): 平成31年4月19日付け 沖縄県教育委員会指令第28号 | (H31.4.19 ~ 個体滅失) |
| 5) 【県天】キクザトサワヘビの現状変更(生息調査、試料採取、飼育)申請 | (H31.4.25 許可) |
| 申請者(日付): 環境省沖縄奄美環境事務所長 | (H31.4.10) |
| 許可(期間): 平成31年4月25日付け 沖縄県教育委員会指令第30号 | (H31.4.25 ~R4.3.31) |
| 6) 【県天】ヨナグニサンの現状変更(譲渡・展示)申請 | (R1.5.13 許可) |
| 申請者(日付): 伊丹市昆虫館館長 | (H31.4.16) |
| 許可(期間): 令和1年5月13日付け 沖縄県教育委員会指令第33号 | (R1.5.13 ~R1.12.31) |
| 7) 【国天】セマルハコガメ・リュウキュウヤマガメの現状変更(一時移動・教材利用)申請 | (R1.6.21 許可) |
| 申請者(日付): 沖縄県教育委員会文化財課 | (R1.5.21) |
| 許可(期間): 令和1年6月21日付け 元受文庁第4号の170 | (R1.6.21 ~R4.3.31) |
| 8) 【国天】慶佐次湾のヒルギ林の現状変更(搬出路確保・樹木等の伐採)申請 | (R1.5.21 進達) |
| 申請者(日付): 東村教育委員会教育長 | (R1.5.10) |
| 許可(期間): 令和1年6月21日付け 元受文庁第4号の169 | (R1.6.21 ~R3.2.28) |
| 9) 【国天】特別天然記念物1種及び天然記念物8種の現状変更(マングース等捕獲罟設置)協議 | (R1.5.23 進達) |
| 協議者(日付): 沖縄防衛局長 | (R1.5.15) |
| 同意(期間): 令和1年6月21日付け 元受文庁第4号の191 | (R1.6.21 ~R3.3.31) |
| 10) 【県天】クロイトカゲモドキの現状変更(生息調査、試料採取、一時捕獲展示)申請 | (R1.5.30 許可) |
| 申請者(日付): 環境省沖縄奄美環境事務所長 | (R1.5.16) |
| 許可(期間): 令和1年5月30日付け 沖縄県教育委員会指令第35号 | (R1.5.30 ~R2.3.31) |
| 11) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 | (R1.6.11 進達) |
| 申請者(日付): 株式会社イーエーシー代表取締役大石哲也 | (R1.5.21) |
| 許可(期間): 令和1年7月19日付け 元受文庁第4号の283 | (R1.7.19 ~R4.4.1) |
| 12) 【県天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 | (R1.6.10 進達) |
| 申請者(日付): 株式会社日建ハウジング代表取締役 眞保榮薫 | (R1.5.24) |
| 許可(期間): 令和1年7月19日付け 元受文庁第4号の256 | (R1.7.19 ~R2.6.30) |
| 13) 【国天】セマルハコガメの現状変更(永年飼育・教育普及)申請 | (R1.6.18 許可) |
| 申請者(日付): 与那国町久部良小学校校長 | (R1.5.21) |
| 許可(期間): 令和1年6月18日付け 沖縄県教育委員会指令第38号 | (R1.6.18 ~ 個体滅失) |
| 14) 【県天】クロイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲、記録計測、試料採取)申請 | (R1.6.21 許可) |
| 申請者(日付): 筑波大学生命環境系教授 本多正尚 | (R1.5.30) |
| 許可(期間): 令和1年6月21日付け 沖縄県教育委員会指令第40号 | (R1.6.21 ~R2.6.30) |
| 15) 【国天】平久保のヤエヤマシタンの現状変更(樹勢回復及び土壌改良)申請 | (R1.6.17 進達) |
| 申請者(日付): 石垣市長 | (R1.6.13) |
| 許可(期間): 令和1年7月19日付け 元受文庁第4号の407 | (R1.7.19 ~R3.3.31) |
| 16) 【県天】ホルストガエルの現状変更(一時移動・展示)申請 | (R1.6.18 許可) |
| 申請者(日付): 北九州市立自然史・歴史博物館長 上田恭一郎 | (R1.6.7) |
| 許可(期間): 令和1年6月18日付け 沖縄県教育委員会指令第42号 | (R1.6.18 ~R1.10.16) |
| 17) 【県天】宇根の大ソテツの現状変更(樹勢回復)申請 | (R1.7.1 許可) |
| 申請者(日付): 久米島町長 | (R1.6.7) |
| 許可(期間): 令和1年7月1日付け 沖縄県教育委員会指令第46号 | (R1.7.1 ~R2.3.27) |

- 18) 【県天】ミヤコカナヘビの現状変更(一時捕獲及び試料採取)申請 (R1.6.19 許可)
 申請者(日付): 琉球大学熱帯生物圏研究センター 准教授 戸田守 (R1.6.11)
 許可(期間): 令和1年6月19日付け 沖縄県教育委員会指令第43号 (R1.6.19 ~ R4.6.30)
- 19) 【国天】オカヤドカリの現状変更(調査のための採取)申請 (R1.6.21 進達)
 申請者(日付): 沖縄県知事 (R1.6.14)
 許可(期間): 令和1年7月19日付け 元受文庁第4号の440 (R1.7.19 ~ R2.2.29)
- 20) 【県天】クロイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び移動、試料採取、個体採取)申請 (R1.6.26 許可)
 申請者(日付): 千葉県中央博物館研究員 栗田隆気 (R1.6.21)
 許可(期間): 令和1年6月26日付け 沖縄県教育委員会指令第45号 (R1.6.26 ~ R4.6.30)
- 21) 【国天】ケラマジカおよびその生息地の現状変更(自動カメラの設置)申請 (R1.7.18 許可)
 申請者(日付): 一般財団法人沖縄県環境科学センター (R1.6.10)
 許可(期間): 令和1年7月18日付け 沖縄県教育委員会指令第49号 (R1.7.18 ~ R2.3.20)
- 22) 【県天】ミヤコカナヘビの現状変更(一時捕獲及び標識)申請 (R1.7.18 許可)
 申請者(日付): 環境省自然環境局野生生物課 稀少種保全推進室長 (R1.6.25)
 許可(期間): 令和1年7月18日付け 沖縄県教育委員会指令第50号 (R1.7.18 ~ R2.3.31)
- 23) 【県天】ミヤコカナヘビ、ミヤコサワガニの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (R1.7.26 許可)
 申請者(日付): 沖縄県農林水産部宮古農林水産振興センター所長 (R1.7.10)
 許可(期間): 令和1年7月26日付け 沖縄県教育委員会指令第51号 (R1.7.26 ~ R3.3.31)
- 24) 【国天】セマルハコガメの現状変更(試料採取)申請 (R1.8.5 許可)
 申請者(日付): 北海道大学大学人獣共通感染症リサーチセンター特任 邸 永晋 (R1.6.21)
 許可(期間): 令和1年8月5日付け 沖縄県教育委員会指令第52号 (R1.8.5 ~ R3.3.31)
- 25) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (R1.7.30 進達)
 申請者(日付): 沖縄総合事務局北部国道事務所長 (R1.7.5)
 許可(期間): 令和1年9月20日付け 元受文庁第4号の641 (R1.9.20 ~ R4.9.19)
- 26) 【国天】慶佐次湾のヒルギ林の現状変更(土砂の浚渫)申請 (R1.7.31 進達)
 申請者(日付): 東村村長 (R1.7.31)
 許可(期間): 令和1年8月7日付け 元受文庁第4号の583 (R1.8.7 ~ R2.3.31)
- 27) 【県天】イボイモリ、クロイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (R1.8.13 許可)
 申請者(日付): 沖縄総合事務局北部国道事務所長 (R1.7.5)
 許可(期間): 令和1年8月13日付け 沖縄県教育委員会指令第53号 (R1.8.13 ~ R4.8.31)
- 28) 【国特】カンムリワシの現状変更(発信器の装着)申請 (R1.8.13 許可)
 申請者(日付): 東海大学沖縄地域研究センター 河野裕美 (R1.7.1)
 許可(期間): 令和1年8月13日付け 沖縄県教育委員会指令第54号 (R1.8.13 ~ R2.3.31)
- 29) 【国天】仲の神島海鳥繁殖地の現状変更(海鳥調査及び工作物の設置)申請 (R1.8.13 進達)
 申請者(日付): 東海大学沖縄地域研究センター 河野裕美 (R1.7.1)
 許可(期間): 令和1年9月20日付け 元受文庁第4号の869 (R1.9.20 ~ R2.3.31)
- 30) 【県天】セマルハコガメの現状変更(永年飼育・教育普及)申請 (R1.8.19 許可)
 申請者(日付): 与那国町教育委員会教育長執務代理 (R1.7.26)
 許可(期間): 令和1年8月19日付け 沖縄県教育委員会指令第55号 (R1.8.19 ~ 個体滅失)
- 31) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)協議 (R1.8.19 進達)
 協議者(日付): 沖縄総合事務局北部国道事務所長 (R1.8.26)
 同意(期間): 令和1年9月20日付け 元受文庁第4号の833 (R1.9.20 ~ R4.9.19)
- 32) 【県天】イボイモリ、クロイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (R1.8.26 許可)
 申請者(日付): 沖縄総合事務局北部国道事務所長 (R1.7.24)
 許可(期間): 令和1年8月26日付け 沖縄県教育委員会指令第56号 (R1.8.26 ~ R4.8.31)
- 33) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)協議 (R1.9.11 進達)
 協議者(日付): 沖縄総合事務局北部国道事務所長 (R1.7.24)
 同意(期間): 令和1年10月18日付け 元受文庁第4号の1013 (R1.10.18 ~ R4.10.17)
- 34) 【県天】イボイモリ、クロイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (R1.9.11 許可)
 申請者(日付): 沖縄総合事務局北部国道事務所長 (R1.7.16)
 許可(期間): 令和1年9月11日付け 沖縄県教育委員会指令第57号 (R1.9.11 ~ R4.9.30)
- 35) 【県天】クロイトカゲモドキの現状変更(捕獲及び飼育)申請 (R1.9.11 許可)
 申請者(日付): 一般財団法人美ら島財団理事長 花城良廣 (R1.9.3)
 許可(期間): 令和1年9月11日付け 沖縄県教育委員会指令第58号 (R1.9.11 ~ R4.8.31)

- 36) 【県天】真謝のチュラフクギの現状変更(樹勢回復)申請 (R1.9.17 許可)
 申請者(日付): 久米島町長 (R1.8.30)
 許可(期間): 令和1年9月18日付け 沖縄県教育委員会指令第59号 (R1.9.18 ~ R2.3.27)
- 37) 【国天】ケラマジカおよびその生息地の現状変更(イノシシ捕獲わな設置)申請 (R1.9.19 進達)
 申請者(日付): 一般財団法人沖縄県環境科学センター (R1.8.30)
 許可(期間): 令和1年10月18日付け 元受文庁第4号の1000 (R1.10.18 ~ R2.3.20)
- 38) 【国天】オカヤドカリの現状変更(マングース捕獲わな設置)申請 (R1.9.27 進達)
 申請者(日付): 環境サイエンス株式会社代表者 エリック・ニューマン (R1.9.27)
 許可(期間): 令和1年10月3日付け 元受文庁第4号の1061 (R1.10.18 ~ R2.12.31)
- 39) 【県天】万座毛石灰岩植物群落の現状変更(侵入植物の除伐等)申請 (R1.10.3 許可)
 申請者(日付): 恩納村長 (R1.9.24)
 許可(期間): 令和1年10月19日付け 沖縄県教育委員会指令第63号 (R1.10.3 ~ R3.3.31)
- 40) 【県天】嘉津宇岳安和岳八重岳自然保護区の現状変更(一時捕獲及び採集)申請 (R1.10.15 許可)
 申請者(日付): 與儀春樹 (R1.9.13)
 許可(期間): 令和1年10月10日付け 沖縄県教育委員会指令第64号 (R1.10.10 ~ R3.9.30)
- 41) 【県天】フタオチョウ他3種の現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (R1.10.11 許可)
 申請者(日付): 沖縄防衛局長 田中利則 (R1.10.2)
 許可(期間): 令和1年10月15日付け 沖縄県教育委員会指令第65号 (R1.10.15 ~ R2.3.31)
- 42) 【県天】イボイモリ、クロイトカゲモドキの現状変更(マングース捕獲わな設置)申請 (R1.10.16 許可)
 申請者(日付): 環境サイエンス株式会社代表者 エリック・ニューマン (R1.10.9)
 許可(期間): 令和1年10月16日付け 沖縄県教育委員会指令第67号 (R1.10.16 ~ R2.12.31)
- 43) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)協議 (R1.10.15 進達)
 協議者(日付): 沖縄防衛局長 田中利則 (R1.9.25)
 同意(期間): 令和1年11月15日付け 元受文庁第4号の1131 (R1.12.3 ~ R4.3.31)
- 44) 【国天】特天ノグチゲラ、天アカヒゲ他8種の現状変更(マングース捕獲わな設置)申請 (R1.11.1 進達)
 申請者(日付): 環境サイエンス株式会社代表者 エリック・ニューマン (R1.10.23)
 許可(期間): 令和1年11月15日付け 元受文庁第4号の1245 (R1.10.23 ~ R2.5.29)
- 45) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (R1.11.12 進達)
 申請者(日付): 南西環境研究所 代表取締役 田中順一 (R1.10.29)
 許可(期間): 令和1年12月20日付け 元受文庁第4号の1280 (R1.10.30 ~ R5.3.31)
- 46) 【県天】イボイモリ他5種の現状変更(マングース捕獲わな設置)申請 (R1.11.21 許可)
 申請者(日付): 環境サイエンス株式会社代表者 エリック・ニューマン (R1.10.23)
 許可(期間): 令和1年12月21日付け 沖縄県教育委員会指令第72号 (R1.11.21 ~ R2.5.29)
- 47) 【県天】クロイトカゲモドキ、フタオチョウの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (R1.11.25 許可)
 申請者(日付): 南西環境研究所 代表取締役 田中順一 (R1.10.29)
 許可(期間): 令和1年11月25日付け 沖縄県教育委員会指令第73号 (R1.11.25 ~ R5.3.31)
- 48) 【国天】首里金城の大アカギの現状変更(樹勢回復)申請 (R1.11.25 進達)
 申請者(日付): 那覇市長 城間幹子 (R1.10.10)
 許可(期間): 令和1年12月20日付け 元受文庁第4号の1377 (R1.12.20 ~ R2.3.31)
- 49) 【県天】嘉津宇岳安和岳八重岳自然保護区の現状変更(植物採集)申請 (R1.12.23 進達)
 申請者(日付): 一般財団法人美ら島財団総合研究センター長 西銘宜孝 (R1.11.29)
 許可(期間): 令和1年12月23日付け 沖縄県教育委員会指令第79号 (R1.12.23 ~ R4.3.10)
- 50) 【国天】仲間川天然保護区域、星立天然保護区域の現状変更(試料採取)申請 (R2.1.6 許可)
 申請者(日付): 琉球大学理学部海洋自然科学科生物系 准教授 今井秀行 (R1.12.23)
 許可(期間): 令和2年1月6日付け 沖縄県教育委員会指令第82号 (R2.1.6 ~ R2.5.31)
- 51) 【国天】オカヤドカリの現状変更(採取)申請 (R2.1.24 進達)
 申請者(日付): 沖縄オカヤドカリ組合組合長 新垣昭 (R2.1.16)
 許可(期間): 令和2年2月14日付け 元受文庁第4号の1713 (R2.2.14 ~ R2.9.30)
- 52) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)協議 (R2.1.24 進達)
 協議者(日付): 沖縄防衛局長 田中利則 (R2.1.21)
 同意(期間): 令和2年2月14日付け 元受文庁第4号の1712 (R2.2.14 ~ R4.3.31)
- 53) 【県天】イシカワガエルの現状変更(一時捕獲及び試料採取)申請 (R2.2.7 許可)
 申請者(日付): 麻布大学獣医学部生理学第一研究室 松井久美 (R2.2.5)
 許可(期間): 令和2年2月7日付け 沖縄県教育委員会指令第4号 (R2.2.7 ~ R2.2.10)

- 54) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (R2.3.19 許可)
 申請者(日付): 沖縄県南部土木事務所長 多嘉良斉 (R2.1.24)
 許可(期間): 令和2年3月19日付け 元受文庁第4号の1815 (R2.3.19 ~ R5.3.18)
- 55) 【県天】クロイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (R2.2.14 許可)
 申請者(日付): 沖縄県南部土木事務所長 多嘉良斉 (R2.1.25)
 許可(期間): 令和2年2月14日付け 沖縄県教育委員会指令第5号 (R2.2.14 ~ R5.3.31)
- 56) 【国天】宮良川のヒルギ林の現状変更(土壌採取)申請 (R2.2.18 許可)
 申請者(日付): 東北学院大学 柳澤英明 (R1.12.16)
 許可(期間): 令和2年3月19日付け 元受文庁第4号の1846 (R2.3.19 ~ R2.12.31)
- 57) 【国天】特別天然記念物1種及び天然記念物8種の現状変更(マングース等捕獲罟設置)協議 (R2.2.18 進達)
 協議者(日付): 環境省沖縄奄美環境事務所長 (R2.2.10)
 同意(期間): 令和2年3月19日付け 元受文庁第4号の1845 (R2.3.19 ~ R5.3.31)
- 58) 【県天】クロイトカゲモドキ他5種の現状変更(マングース等捕獲罟設置)協議 (R2.2.21 許可)
 協議者(日付): 環境省沖縄奄美環境事務所長 (R2.2.11)
 許可(期間): 令和2年2月21日付け 沖縄県教育委員会指令第6号 (R2.2.21 ~ R5.3.31)
- 59) 【国天】星立天然保護区域、オカヤドカリの現状変更(水生生物調査、一時捕獲及び移動)申請 (R2.3.13 進達)
 申請者(日付): 八重山土木事務所 所長 勢理客 武 (R2.2.25)
 許可(期間): 令和2年4月17日付け 元受文庁第4号の2079 (R2.4.17 ~ R5.3.31)
- 60) 【県天】ヨナグニサンの現状変更(飼育・展示)申請 (R2.3.17 許可)
 申請者(日付): 伊丹市昆虫館館長 奥山清市 (R2.2.20)
 許可(期間): 令和2年3月17日付け 沖縄県教育委員会指令第10号 (R2.3.17 ~ R2.9.30)
- 61) 【国天】ケラマジカおよびその生息地の現状変更(自動撮影カメラの設置)申請 (R2.3.16 許可)
 申請者(日付): 一般財団法人沖縄県環境科学センター 代表理事 比嘉悟 (R2.3.12)
 許可(期間): 令和2年3月16日付け 沖縄県教育委員会指令第11号 (R2.3.16 ~ R2.8.31)
- 62) 【県天】嘉津宇岳安和岳八重岳自然保護区の現状変更(昆虫トラップ等の設置及び植生調査)申請 (R2.3.17 許可)
 申請者(日付): 学校法人沖縄科学技術大学院大学学園理事長 ピーター・グレース (R2.3.2)
 許可(期間): 令和2年3月17日付け 沖縄県教育委員会指令第12号 (R2.3.17 ~ R4.3.31)
- 63) 【県天】イシカワガエル、ナミエガエル、ホルストガエルの現状変更(一時捕獲及び試料採取等)申請 (R2.3.18 許可)
 申請者(日付): 千木良芳範 (R2.3.5)
 許可(期間): 令和2年3月18日付け 沖縄県教育委員会指令第13号 (R2.3.17 ~ R5.3.31)
- 64) 【県天】フタオチョウの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (R2.3.25 許可)
 申請者(日付): 沖縄防衛局長 田中利則 (R2.3.6)
 許可(期間): 令和2年3月25日付け 沖縄県教育委員会指令第14号 (R2.3.25 ~ R3.3.31)